神奈川県　大和・高座地域
循環型社会形成推進地域計画
（第３期）

大　和　市
海 老 名 市
座　間　市
綾　瀬　市
高座清掃施設組合

令和２年１２月８日

（令和６年１１月１２日変更）

目　次

１　地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項…… 1
（１）対象地域…… 1
（２）計画期間…… 2
（３）基本的な方向…… 2
（４）ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況…… 3
（５）プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容…… 3

２　循環型社会形成推進のための現状と目標…… 4
（１）一般廃棄物等の処理の現状…… 4
（２）生活排水の処理の現状…… 5
（３）一般廃棄物等の処理の目標…… 10
（４）生活排水処理の目標…… 12

３　施策の内容…… 17
（１）発生抑制、再使用の推進…… 17
（２）処理体制…… 19
（３）処理施設等の整備…… 25
（４）その他の施策…… 26

４　計画のフォローアップと事後評価…… 27
（１）計画のフォローアップ…… 27
（２）事後評価及び計画の見直し…… 27

1　地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

（１）対象地域

構成市名　　大和市、海老名市、座間市、綾瀬市
面　　積　　93.39k ㎡
人　　口　　586,132 人（令和元年 10 月 1 日現在）

表 1　対象地域の内訳

市　名	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市
面積(k ㎡)	27.09	26.59	17.57	22.14
人　口(人)	237,446	133,706	130,608	84,372

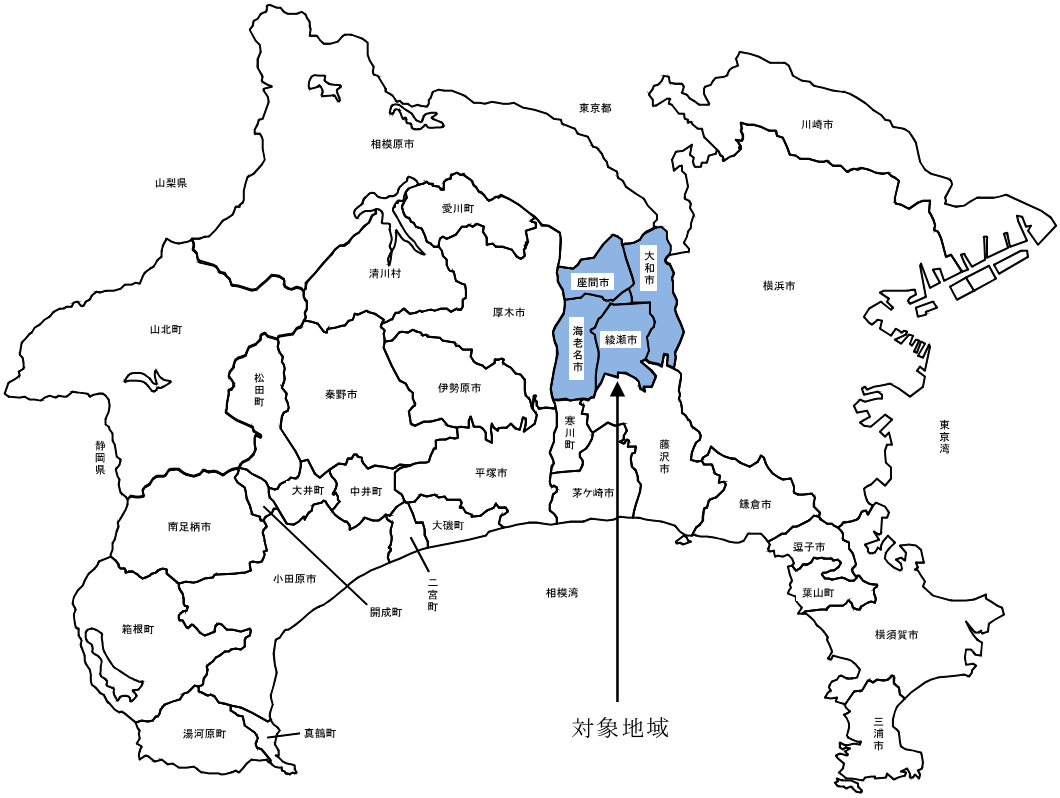


図 1　対象地域図

（２）計画期間

本計画は令和３年度から令和７年度までの５年間を計画期間とするが、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

（３）基本的な方向

大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「本地域」という。）は、神奈川県のほぼ中央に位置し、温和な気候と豊かな自然に囲まれ、古来より農業が盛んであったが、首都近郊という地理的条件から、戦後の高度経済成長期以降、東京や横浜のベッドタウンとして人口が急増し、都市化が進展した。

ごみの総排出量は、平成12年度をピークにその後減少傾向を示しているが、生活系ごみや事業系ごみのさらなる減量化に取り組む必要がある。

生活系ごみについては、容器包装プラスチックの分別収集及び廃食用油の資源化を実施しているほか、大和市、海老名市では戸別収集有料化、海老名市、綾瀬市では剪定枝、容器包装以外のプラスチック及び木製家具の資源化、座間市については剪定枝及び容器包装以外のプラスチックの一部資源化を行なっており、平成30年度の人口１人当たりごみ量の原単位は神奈川県で一番少ない状況である。

さらなるごみの排出抑制を図るため、今後も有効的な施策の検討や市民の意識向上等を図り、分別排出の徹底等によるごみの減量化を推進する。

現在、本地域では大和市と、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「高座地域」という。）を構成市とする高座清掃施設組合の独立した２か所の焼却施設を「1ブロック２システム」ととらえ、災害時やそれぞれのシステムのバックアップとして、相互にごみの受け入れを行うことで、施設運転の効率化を図っている。

このような中、高座地域では平成31年３月新たなじん芥処理施設となる「高座クリーンセンター」が竣工。施設規模は高効率ごみ発電施設122.5t/日×2炉、マテリアルリサイクル施設14t/5ｈであり、これまで以上の発電効率や資源物の回収など循環型社会にふさわしい廃棄物リサイクル処理システムの構築をさらに推し進める施設運営を目指す。

粗大ごみ処理施設においては資源物の回収を促進することにより、循環型社会にふさわしい廃棄物リサイクル処理システムの構築を図る。

生活排水処理については、近年の公共下水道の整備・普及を踏まえながら、未整備区域においては、効率的な合併処理浄化槽の普及促進に努める。

なお、今後、発生量が減少することが見込まれるし尿及び浄化槽汚泥については、し尿処理と下水道との一元的な処理体系により処理の合理化と効率化を図る。

大和市では引き続き下水道終末処理施設を活用したし尿処理を継続し、高座地域では下水道システムを活用したし尿処理施設にて処理を継続する。

（４）ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

本地域では、これまで独立していた大和市と高座清掃施設組合の 2 箇所の焼却処理施設を、「1 ブロック2 システム」ととらえ、災害時やそれぞれのシステムのバックアップとして、相互にごみの受入れを行うことで、施設運転の効率化を図っている。

（５）プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

本地域では、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（以下「容器包装リサイクル法」という。）に則り、プラスチック製容器包装の分別回収及び指定法人による再商品化を行っている。

容器包装以外のプラスチックについては、海老名市及び綾瀬市では製品プラスチック全般について分別回収し、RPF化等の資源化を行っている。座間市では不燃ごみとして収集した一部のプラスチック製品について後に選別し、資源化を行っている。

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に則ったプラスチック資源の分別収集及び再商品化については、今後コストや環境影響等の情報収集を行い、財政状況等を踏まえながら分別収集・再商品化の実施方法や実施時期について検討を行う。

また、市民がプラスチック使用製品の使用を合理化し、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するよう、啓発・情報提供を行う。

2　循環型社会形成推進のための現状と目標

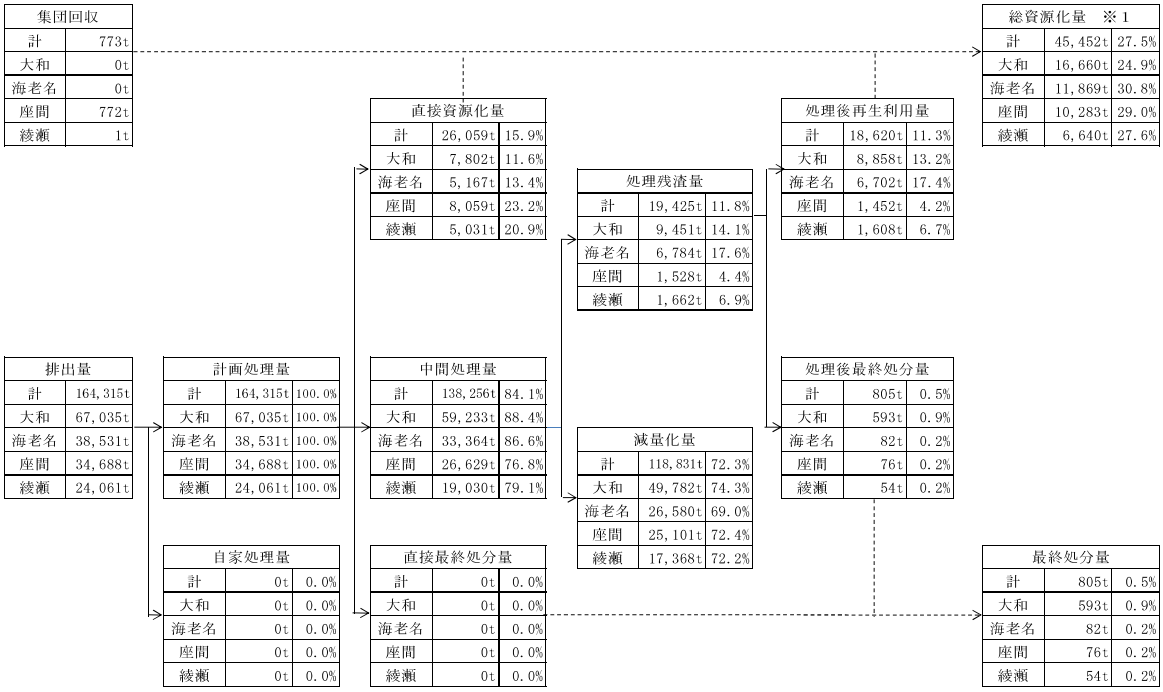
（１）一般廃棄物等の処理の現状

平成 30 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 2 のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、165,088 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 45,452 トンで、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団資源回収量））は 27.5%である。

中間処理による減量化量は 118,831 トンであり、集団回収を除いた排出量の 72.3%が減量されている。また、集団回収量を除いた排出量の 0.5%にあたる 805 トンが埋め立てられている。

中間処理量のうち、焼却量は 129,303 トンであり、焼却による余熱を発電や給湯等に利用している。



※1：総資源化量の％は、リサイクル率（＝総資源化量／（排出量＋集団回収量））である。

図 2　一般廃棄物の処理状況フロー

（２）生活排水の処理の現状

ア　大和・高座地域

平成30年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は図3に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は 582,853人であり、汚水衛生処理人口は566,105人、汚水衛生処理率は97.1％である。

し尿発生量は 2,406kL／年、浄化槽汚泥発生量は 11,998kL／年であり、処理・処分量は 14,404kL／年である。

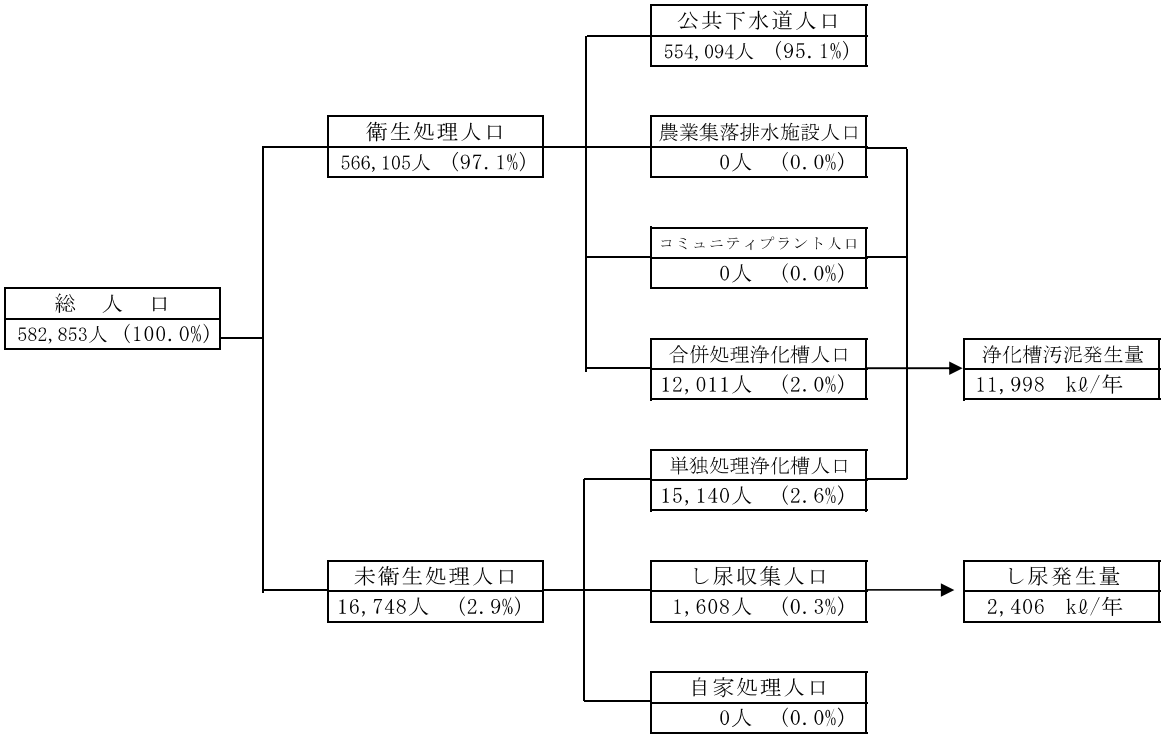


図３　生活排水の処理状況フロー（大和・高座地域）

イ　大和市

平成30年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は図4に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は 235,846人であり、汚水衛生処理人口は228,522人、汚水衛生処理率は96.9%である。

し尿発生量は 793kL／年、浄化槽汚泥発生量は 2,364kL／年であり、処理・処分量は 3,157kL／年である。

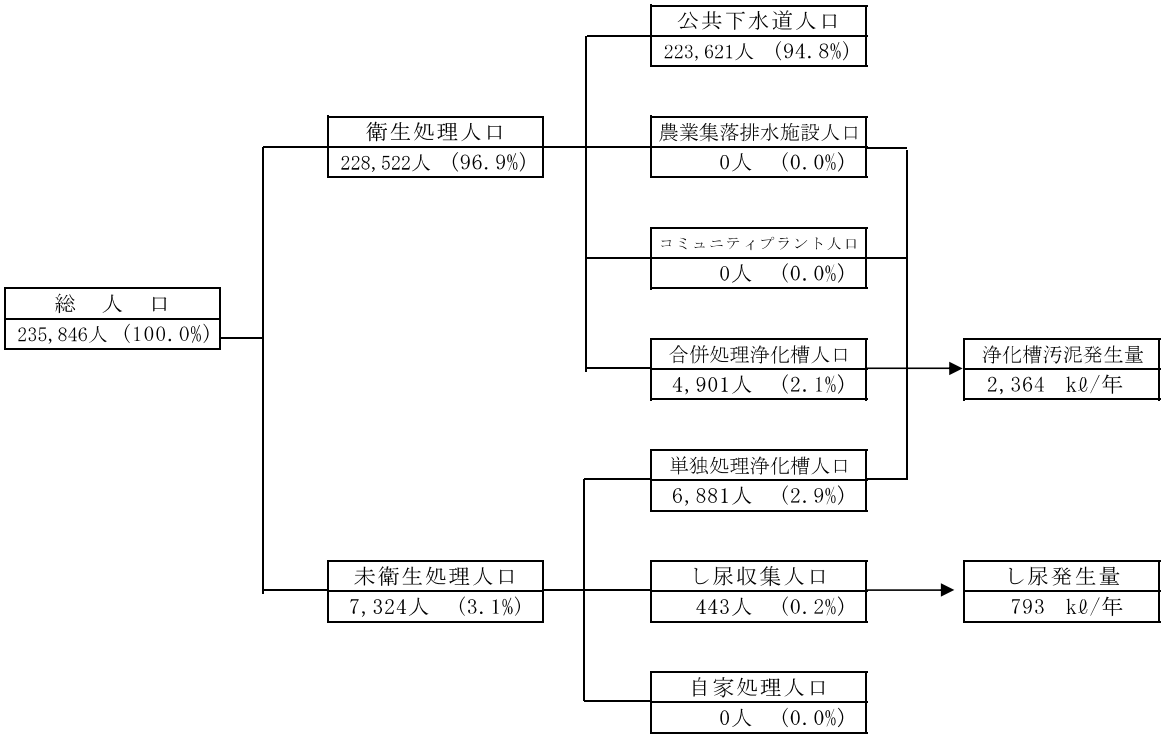


図４　生活排水の処理状況フロー（大和市）

ウ　海老名市

平成30年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は図5に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は 133,353人であり、汚水衛生処理人口は131,999人、汚水衛生処理率は99.0%である。

し尿発生量は 560kL／年、浄化槽汚泥発生量は 3,195kL／年であり、処理・処分量は 3,755kL／年である。

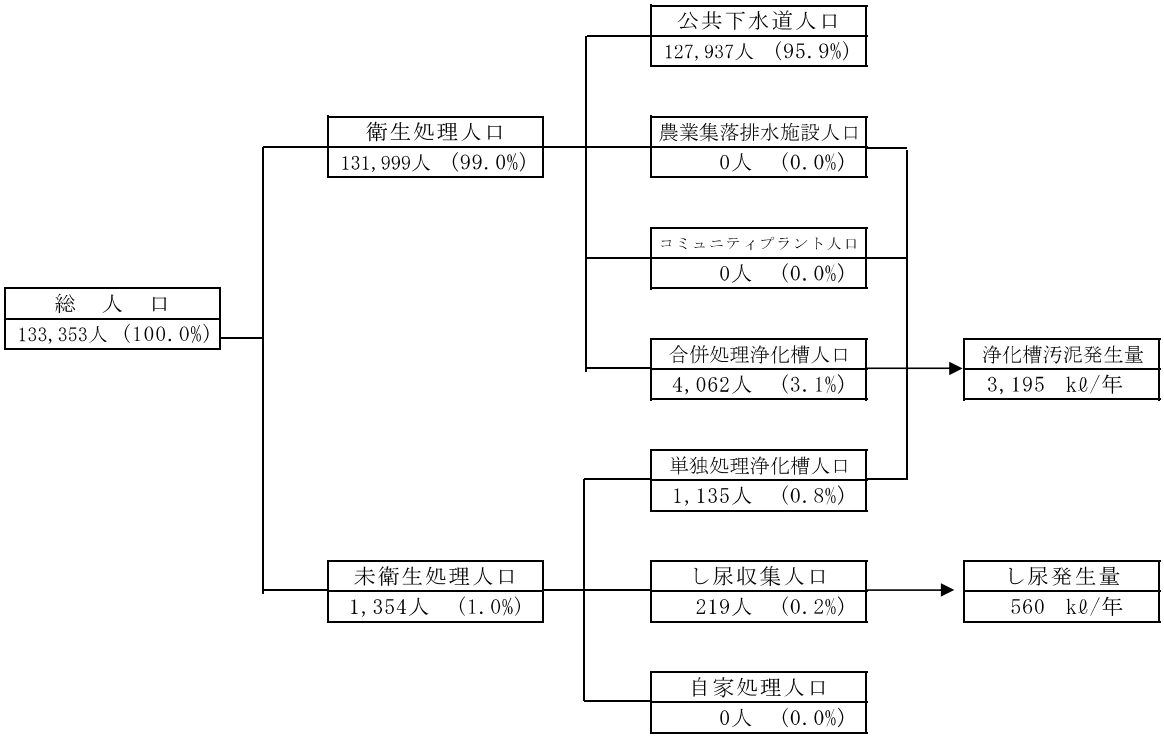


図５　生活排水の処理状況フロー（海老名市）

エ　座間市

平成30年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は図6に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は 129,425人であり、汚水衛生処理人口は124,025人、汚水衛生処理率は95.8%である。

し尿発生量は 428kL／年、浄化槽汚泥発生量は 3,358kL／年であり、処理・処分量は 3,786kL／年である。

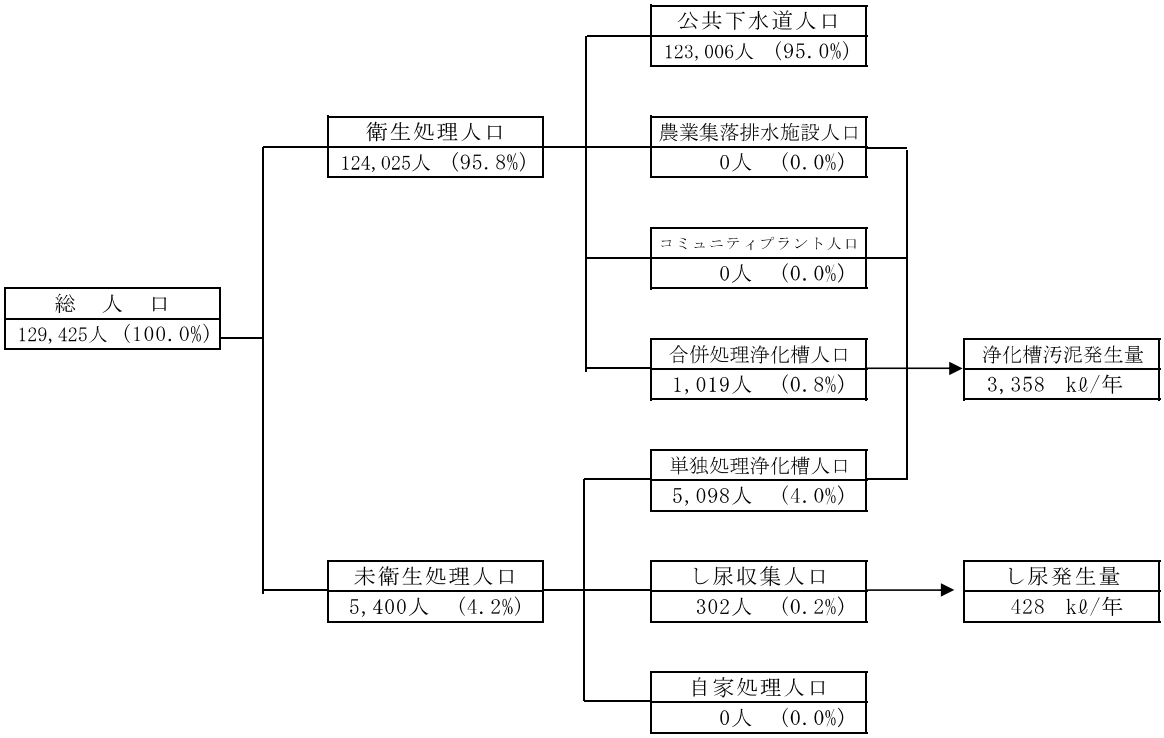


図 6　生活排水の処理状況フロー（座間市）

オ　綾瀬市

平成30年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は図7に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は 84,229人であり、汚水衛生処理人口は 81,559人、汚水衛生処理率は96.8%である。

し尿発生量は 625kL／年、浄化槽汚泥発生量は 3,081kL／年であり、処理・処分量は 3,706kL／年である。

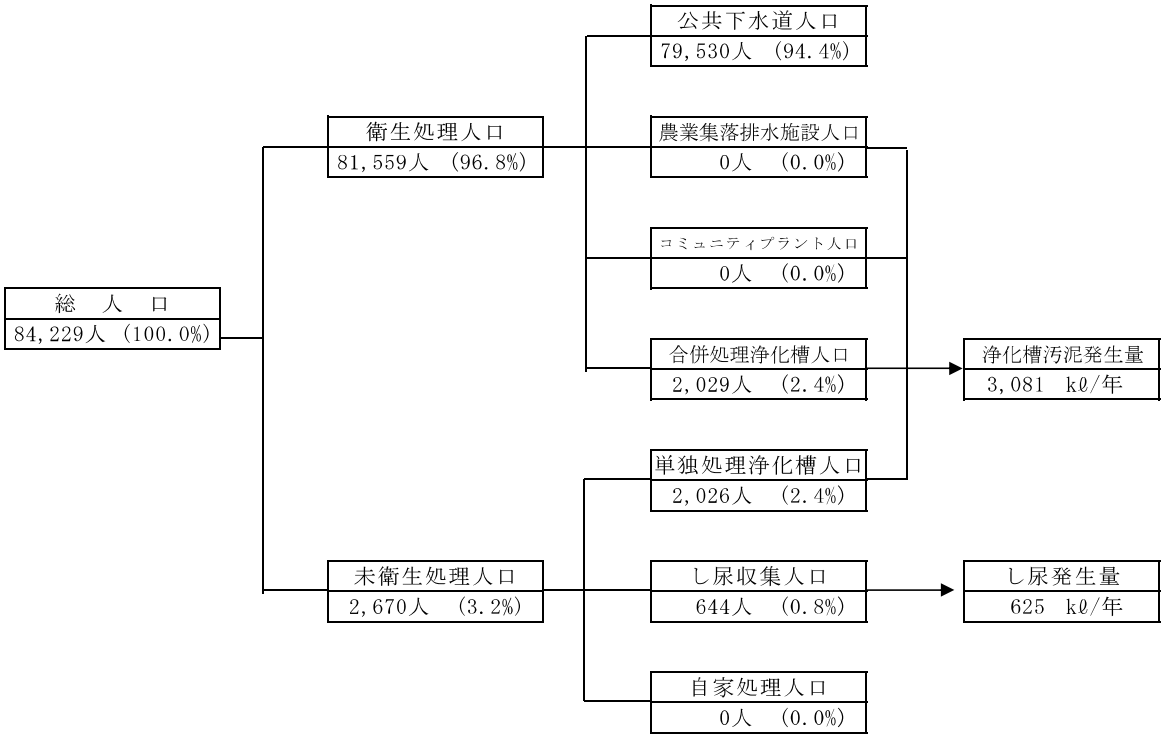


図７　生活排水の処理状況フロー（綾瀬市）

（３）一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表２のとおり目標を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。また、令和８年度における目標達成時の一般廃棄物等の処理フローは、図８のとおりである。

表２　減量化、再生利用に関する現状と目標

指　　標			現状（割合※1）（平成３０年度）	目標（割合※1）（令和８年度）
排 出 量	事業系　総排出量		36,340　トン	27,029　トン　(-25.6%)
	１事業所当たりの排出量※2		2.02　トン/事業所	1.50　トン/事業所　(-25.6%)
	生活系　総排出量		127,975　トン	124,972　トン　(-2.3%)
	１人当たりの排出量※3		159　Kg/人	140　Kg/人　(-12.0%)
	合　計　事業系生活系排出量合計		164,315　トン	152,001　トン　(-7.5%)
再生利用量	直接資源化量		26,059　トン　(15.9%)	29,342　トン　(19.3%)
	総資源化量		45,452　トン　(27.5%)	53,613　トン　(35.2%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量	（年間の発電電力量）	32,650　MWh	42,098　MWh
		（年間の熱利用量）	578,883　GJ	683,805　GJ
最終処分量	埋立最終処分量		805　トン　(0.5%)	177　トン　(0.1%)

注）計画収集人口：神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」。ただし、R8は「一般廃棄物処理基本計画」の推計値。なお、大和市は「大和市総合計画後期基本計画」での推計値。

H30：582,141人（大和市：235,846人、海老名市：132,641人、座間市：129,425人、綾瀬市：84,229人）

R 8：589,761人（大和市：234,537人、海老名市：140,300人、座間市：131,898人、綾瀬市：83,026人）

事業所数：「経済センサス活動調査」　H30、R8：H28年度実績と同数とした。

H30、R8：17,791（大和市：7,479、海老名市：4,168、座間市：3,234、綾瀬市：2,910）

※１　・排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

・総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合

※２　（１事業所当たりの排出量）＝｛(事業系ごみの総排出量）－（事業系ごみの資源ごみ量)｝/（事業所数）

※３　（１人当たりの排出量）＝｛(生活系ごみの総排出量）－（生活系ごみの資源ごみ量)｝/（人口）

《指標の定義》

排　　出　　量：事業系ごみ､生活系ごみを問わず､出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位：トン]

総 資 源 化 量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位：トン]

エネルギー回収量：(年間の発電電力量）処理施設において発電された年間の発電電力量[単位：MWh]

(年間の熱利用量）年間の熱利用量[単位：GJ]

減　量　化　量：中間処理量と処理後の残さ量の差[単位：トン]

最 終 処 分 量：埋立処分された量[単位：トン]

○R08年度

集団回収	
計	386t
大和	0t
海老名	0t
座間	385t
綾瀬	1t

総資源化量　※1		
計	53,613t	35.2%
大和	20,398t	30.7%
海老名	13,365t	39.1%
座間	11,871t	38.7%
綾瀬	7,979t	37.9%

直接資源化量		
計	29,342t	19.3%
大和	6,681t	10.1%
海老名	6,689t	19.6%
座間	9,475t	31.3%
綾瀬	6,497t	30.8%

処理残渣量		
計	24,062t	15.8%
大和	13,717t	20.6%
海老名	6,769t	19.8%
座間	2,095t	6.9%
綾瀬	1,481t	7.0%

処理後再生利用量		
計	23,885t	15.7%
大和	13,717t	20.6%
海老名	6,676t	19.5%
座間	2,011t	6.6%
綾瀬	1,481t	7.0%

排出量	
計	152,001t
大和	66,468t
海老名	34,163t
座間	30,303t
綾瀬	21,067t

計画処理量		
計	152,001t	100.0%
大和	66,468t	100.0%
海老名	34,163t	100.0%
座間	30,303t	100.0%
綾瀬	21,067t	100.0%

中間処理量		
計	122,659t	80.7%
大和	59,787t	89.9%
海老名	27,474t	80.4%
座間	20,828t	68.7%
綾瀬	14,570t	69.2%

減量化量		
計	98,597t	64.8%
大和	46,070t	69.3%
海老名	20,705t	60.6%
座間	18,733t	61.8%
綾瀬	13,089t	62.1%

処理後最終処分量		
計	177t	0.1%
大和	0t	0.0%
海老名	93t	0.3%
座間	84t	0.3%
綾瀬	0t	0.0%

自家処理量		
計	0t	0.0%
大和	0t	0.0%
海老名	0t	0.0%
座間	0t	0.0%
綾瀬	0t	0.0%

直接最終処分量		
計	0t	0.0%
大和	0t	0.0%
海老名	0t	0.0%
座間	0t	0.0%
綾瀬	0t	0.0%

最終処分量		
計	177t	0.1%
大和	0t	0.0%
海老名	93t	0.3%
座間	84t	0.3%
綾瀬	0t	0.0%

※1：総資源化量の％は、リサイクル率（＝総資源化量／（排出量＋集団回収量））である

図８　目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和８年度）

（４）生活排水処理の目標

ア　大和・高座地域

生活排水処理の目標は、表3に掲げるとおり汚水衛生処理率の向上を目指し、下水道、合併処理浄化槽及びし尿処理施設の効果的な整備等を進めていくものとする。

表3　生活排水処理に関する現状と目標（大和・高座地域）

			平成３０年度実績	令和８年度目標
処理形態別人口合計			582,853人	589,761人
	１．水洗化・生活雑排水処理人口		566,105人　(97.1%)	584,495人　(99.1%)
		（１）コミュニティプラント人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
		（２）合併処理浄化槽人口	12,011人　(2.0%)	14,781人　(2.5%)
		（３）下水道人口	554,094人　(95.1%)	569,714人　(96.6%)
		（４）集落排水施設人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
	２．水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）		15,140人　(2.6%)	4,320人　(1.1%)
	３．非水洗化人口		1,608人　(0.3%)	946人　(0.2%)
		（１）し尿収集人口	1,608人　(0.3%)	946人　(0.2%)
		（２）自家処理人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
し尿・汚泥量の合計			14,404　kℓ/年	11,458　kℓ/年
	し尿収集量		2,406　kℓ/年	2,031　kℓ/年
	浄化槽汚泥収集量		11,998　kℓ/年	9,427　kℓ/年

○令和８年度

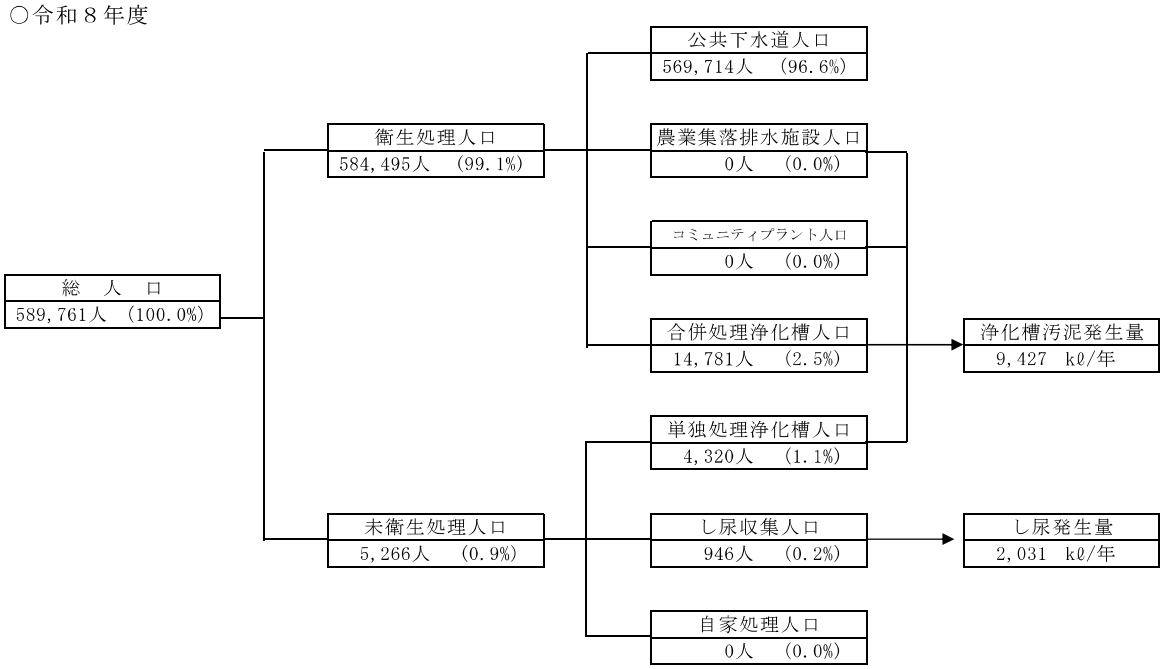


図9　目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（大和・高座地域）

イ　大和市

生活排水処理の目標は、表4に掲げるとおりである。

表4　生活排水処理に関する現状と目標（大和市）

			平成３０年度実績　（割合）	令和８年度目標　（割合）
処理形態別人口合計			235,846人	234,537人
	１．水洗化・生活雑排水処理人口		228,522人　(96.9%)	232,843人　(99.3%)
		（１）コミュニティプラント人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
		（２）合併処理浄化槽人口	4,901人　(2.1%)	5,115人　(2.2%)
		（３）下水道人口	223,621人　(94.8%)	227,728人　(97.1%)
		（４）集落排水施設人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
	２．水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）		6,881人　(2.9%)	1,210人　(0.5%)
	３．非水洗化人口		443人　(0.2%)	484人　(0.2%)
		（１）し尿収集人口	443人　(0.2%)	484人　(0.2%)
		（２）自家処理人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
し尿・汚泥量の合計			3,157　kℓ/年	3,372　kℓ/年
	し尿収集量		793　kℓ/年	972　kℓ/年
	浄化槽汚泥収集量		2,364　kℓ/年	2,400　kℓ/年

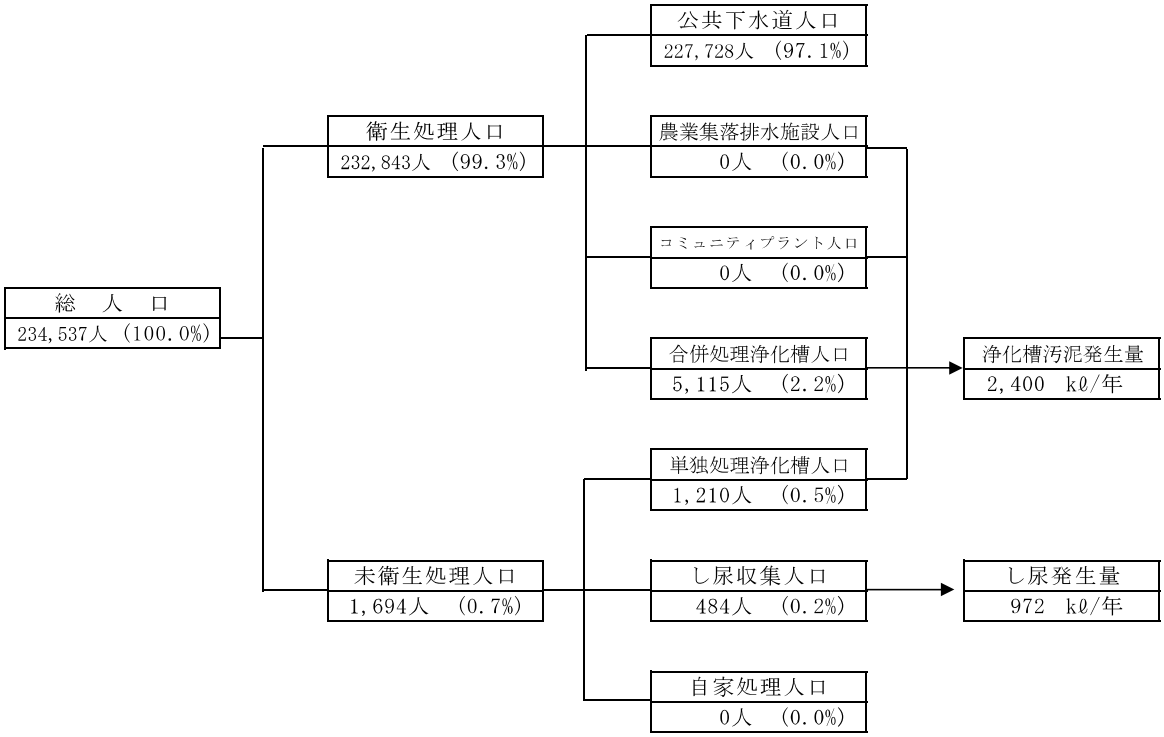


図10　目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（大和市）

ウ　海老名市

生活排水処理の目標は、表5に掲げるとおりである。

表5　生活排水処理に関する現状と目標（海老名市）

			平成３０年度実績　(割合)	令和８年度目標　(割合)
処理形態別人口合計			133,353人	140,300人
	１．水洗化・生活雑排水処理人口		131,999人　(99.0%)	139,177人　(99.2%)
		（１）コミュニティプラント人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
		（２）合併処理浄化槽人口	4,062人　(3.0%)	3,803人　(2.7%)
		（３）下水道人口	127,937人　(95.9%)	135,374人　(96.4%)
		（４）集落排水施設人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
	２．水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）		1,135人　(0.9%)	1,018人　(0.7%)
	３．非水洗化人口		219人　(0.2%)	105人　(0.1%)
		（１）し尿収集人口	219人　(0.2%)	105人　(0.1%)
		（２）自家処理人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
し尿・汚泥量の合計			3,755　kℓ/年	2,543　kℓ/年
	し尿収集量		560　kℓ/年	361　kℓ/年
	浄化槽汚泥収集量		3,195　kℓ/年	2,182　kℓ/年

○令和８年度

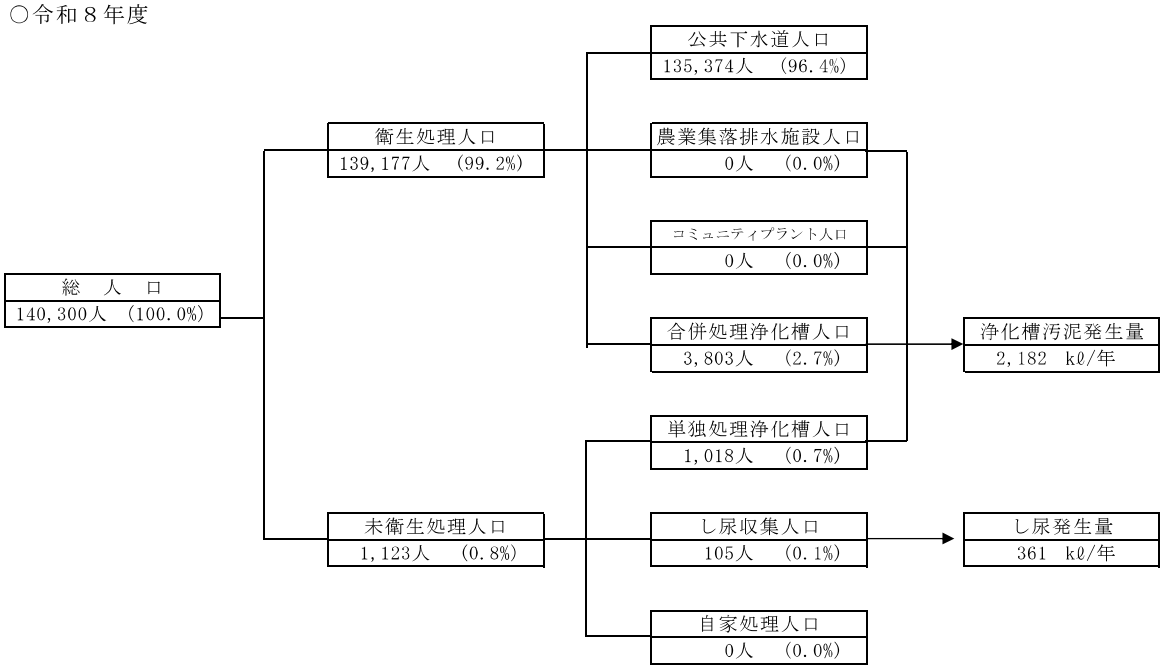


図11　目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（海老名市）

エ　座間市

生活排水処理の目標は、表6に掲げるとおりである。

表6　生活排水処理に関する現状と目標（座間市）

			平成３０年度実績　(割合)	令和８年度目標　(割合)
処理形態別人口合計			129,425人	131,898人
	１．水洗化・生活雑排水処理人口		124,025人　(95.8%)	130,196人　(98.7%)
		（１）コミュニティプラント人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
		（２）合併処理浄化槽人口	1,019人　(0.8%)	4,086人　(3.1%)
		（３）下水道人口	123,006人　(95.0%)	126,110人　(95.6%)
		（４）集落排水施設人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
	２．水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）		5,098人　(4.0%)	1,579人　(1.2%)
	３．非水洗化人口		302人　(0.2%)	123人　(0.1%)
		（１）し尿収集人口	302人　(0.2%)	123人　(0.1%)
		（２）自家処理人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
し尿・汚泥量の合計			3,786　kℓ/年	2,810　kℓ/年
	し尿収集量		428　kℓ/年	163　kℓ/年
	浄化槽汚泥収集量		3,358　kℓ/年	2,647　kℓ/年

○令和８年度

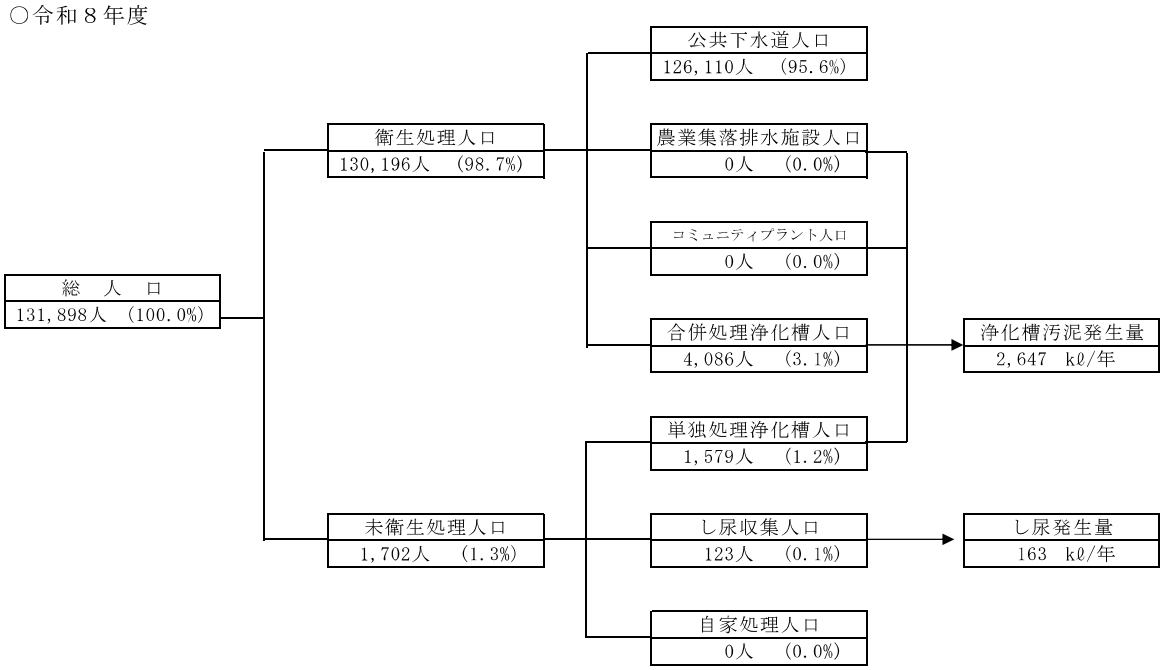


図12　目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（座間市）

オ　綾瀬市

生活排水処理の目標は、表7に掲げるとおりである。

表7　生活排水処理に関する現状と目標（綾瀬市）

			平成３０年度実績　(割合)	令和８年度目標　(割合)
処理形態別人口合計			84,229人	83,026人
	１．水洗化・生活雑排水処理人口		81,559人　(96.8%)	82,279人　(99.1%)
		（１）コミュニティプラント人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
		（２）合併処理浄化槽人口	2,029人　(2.4%)	1,777人　(2.1%)
		（３）下水道人口	79,530人　(94.4%)	80,502人　(97.0%)
		（４）集落排水施設人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
	２．水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）		2,026人　(2.4%)	513人　(0.6%)
	３．非水洗化人口		644人　(0.8%)	234人　(0.3%)
		（１）し尿収集人口	644人　(0.8%)	234人　(0.3%)
		（２）自家処理人口	0人　(0.0%)	0人　(0.0%)
し尿・汚泥量の合計			3,706　kℓ/年	2,733　kℓ/年
	し尿収集量		625　kℓ/年	535　kℓ/年
	浄化槽汚泥収集量		3,081　kℓ/年	2,198　kℓ/年

○令和8年度

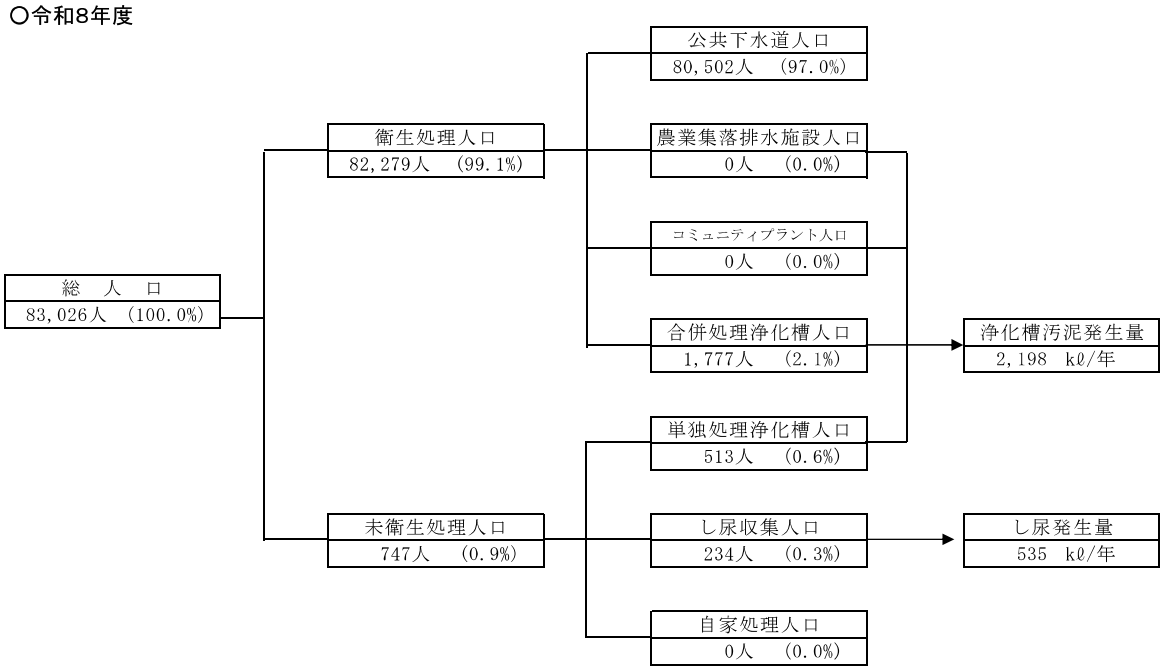


図13　目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（綾瀬市）

３　施策の内容

（１）発生抑制、再使用の推進

ア　ごみの有料化

（ア）生活系ごみ

大和市では、ごみの減量化・資源化等を目的に、平成 18 年 7 月から家庭系有料指定ごみ袋制度を導入しており、今後も有料化を継続する。また、生活系の一般廃棄物の処理に関する手数料の額について、適正な額であるかどうかを定期的に検証していく。

海老名市では、ごみの減量化等を目的に、令和元年 9 月 30 日から家庭系ごみ一部有料化及び戸別収集を導入しており、今後も継続していく。

座間市、綾瀬市では、生活系ごみ有料化及び戸別収集に関する情報収集及び分析等を行い、今後も導入に向けての研究・検討を行っていく。

（イ）事業系ごみ

大和市では、少量のごみを排出する事業者に対しては、市指定の事業系有料指定ごみ袋制度を導入しており、戸別収集の対象とすることができるようにしているほか、一般廃棄物収集運搬許可業者及び事業者自らが大和市環境管理センターへ一般廃棄物を搬入する際、処理にかかる費用と同程度の手数料を徴収しており、今後も継続する。

また、事業系一般廃棄物の処理に関する手数料の額について、適正な額であるかどうかを定期的に検証する。

高座地域では、組合に搬入される事業系一般廃棄物については、処理する際にかかる費用と同程度の手数料を徴収しており、今後も継続する。

また、周辺自治体との調整も考慮に入れながら、事業所から発生したごみは事業者の責任において処理をするという法の趣旨に合致した処理料金の検討を引き続き行っていく。

イ　環境教育、普及啓発の推進

本地域では、施設見学に訪れる小学生に対し、ごみの減量化、資源化等の重要性についての説明を行っているほか、小・中学校の環境学習教材として活用する副読本を作成しており、今後も継続する。

また、ごみやリサイクルに関心を持っている市民の要望に応え、出前講座等を実施しているほか、研修会や講演会等を開催しており、市民の意識のさらなる向上を図るため今後も継続する。

さらに、広報誌、ホームページを活用して、３Ｒやごみ処理に関する情報提供、ごみやリサイクルに関する情報提供、過剰包装の辞退、マイバッグ持参運動、詰換え製品の利用等の消費行動に対する啓発などを継続し、さらなるごみの減量化、資源化への協力について啓発普及に努める。

大和市では、希望者を対象に「やまとみどりの学校プログラム（※)」を活用し、小・中学生の自発的な学習の支援など、学校教育と連携を図った環境教育を行っており、今後も継続する。

※環境学習を始めようとする子どもたちが、学校を通じてグループごとに資源とごみ、エネルギー、自然など、地球や環境に関する活動テーマと、調査してみたい課題を事務局へ提出する。事務局は、必要に応じて、様々な支援を行う制度。

ウ　支援助成

本地域では、家庭での生ごみの自家処理を促進するため、生ごみ処理容器等の購入費用に対し助成（補助）を行っており、今後も継続する。なお、大和市、海老名市、綾瀬市では事業者に対しても助成を行う。

座間市、綾瀬市では、集団回収を実施した団体に対し、回収量に応じて助成を行っており、今後も継続する。

エ　レジ袋対策

プラスチックの過剰な使用の抑制を進めていくため、令和２年７月１日から全国で一律にプラスチック製買物袋の有料化が開始されたが、本地域では、ごみの発生抑制を推進するため、市民、事業者と協働して、簡易包装、マイバッグ持参運動、レジ袋削減等に関しての、ポスターの配布・掲示や広報紙等でのＰＲに取り組んでおり、今後も継続する。

オ　事業系ごみの発生抑制

本地域では、多量排出事業者に対して、廃棄物の処理に関する実績並びに廃棄物の減量化及び資源化に関する計画書の提出を依頼し、計画的にごみの減量化が図られるよう指導を行っており、今後も継続する。

カ　廃食用油の資源化

海老名市、座間市及び綾瀬市では、廃食用油の分別収集を行い、インク原料や家畜用飼料としてリサイクルしており、今後も継続する。

大和市では、廃食用油を拠点回収し、資源化業者へ引き渡し、飼料などとして再生利用を行っている。

キ　剪定枝の資源化

高座地域では、各市で実施している剪定枝のリサイクル化（海老名市と座間市は資源化業者引き渡し、綾瀬市は独自にチップ化及び資源化業者へ引き渡し）に加え、新たに「高座クリーンセンター」に整備する（仮称）剪定枝リサイクルセンターにより、リサイクル利用の多様化を図る。

ク　生活排水対策

河川等公共用水域の浄化対策及び浄化槽の適正な維持管理等を推進するため、広報、啓発活動を積極的に行っていく。

（ア）家庭における浄化対策の促進

市民に対して、生活排水対策の必要性についての啓発を行っていくとともに、広報等により家庭で誰もができる「家庭での浄化対策」を推進していく。

（イ）浄化槽の適正な維持・管理等に関する啓発

市民に対して、浄化槽に関する正しい知識や、適正な維持管理の必要性を広報等により啓発していく。また、浄化槽維持管理業者に対しては、適正な保守点検を行うよう啓発していく。

（ウ）合併処理浄化槽の普及促進

生活雑排水未処理世帯及び公共下水道への接続が困難な世帯を対象に、合併処理浄化槽の普及を促進するため、広報、啓発活動を行っていく。

（２）処理体制

分別区分及び処理方法は、表 8 のとおりである。

本地域は、大和市と高座清掃施設組合の独立した 2 か所の焼却施設を、「1 ブロック 2 システム」ととらえ、災害時やそれぞれのシステムのバックアップとして、相互にごみの受入れを行うことで、施設運転の効率化を図っている。

ア　家庭ごみの処理体制の現状と今後

（ア）大和市

大和市では、平成 18 年 7 月から、可燃ごみ、不燃ごみの戸別収集を開始している。収集した可燃ごみは、「大和市環境管理センターごみ焼却処理施設」において焼却処理している。処理後の焼却残さは、路盤材の原料として資源化しているが、緊急時等のリスク回避のため一部民間処分場で埋立処分している。なお、焼却時に発生する熱は回収し、蒸気を場内及び隣接するプールへ供給しているほか、発電を行い、場内及び隣接する温水プール・公園・野球場へ供給し、余剰電力は売電している。

紙、布、びん、缶・金物類、ペットボトル、白色トレイの資源物は、委託業者が回収し、必要に応じて資源選別所において再分別等を実施した後、リサイクル事業者等に引き渡し資源化している。また、その他プラスチック製容器包装は、容器包装リサイクル法で定められた指定法人により再商品化している。

不燃ごみ、粗大ごみは、収集後、「大和市環境管理センター粗大ごみ処理施設」において選別・破砕処理し、資源物（鉄・アルミ・カレット等）、処理困難物（乾電池等）、残さに選別している。選別した資源物は、リサイクル事業者等に持ち込み資源化し、処理困難物は専門業者に委託処理し、残さは「可燃ごみ」と同様に「大和市環境管理センターごみ焼却処理施設」において焼却処理している。

今後は、焼却残さの全量資源化を推進するとともに、設備の老朽化等を勘案し、適切な施設の整備を図っていく。

（イ）高座地域

高座地域では、可燃ごみは、「高座クリーンセンターじん芥処理施設」において焼却処理し、処理後の焼却残さの 100%を委託処理し路盤材等の資源化を行っており、今後は「高座クリーンセンター・（仮称）剪定枝リサイクルセンター」により、可燃ごみの減量化を推進する。

なお、焼却処理に伴って発生する熱を回収し、隣接するプールや老人福祉施設へ蒸気やお湯を供給するとともに、発電を行い、同施設に供給し余剰電力は売電している。

紙、布、びん、缶・金物類、ペットボトル、その他プラスチック製容器包装等（海老名市と綾瀬市では容器包装以外のプラスチック）の資源物は、収集後、各市の資源化施設等に搬入し、選別・保管等を行っている。選別した資源物は、リサイクル事業者等に持ち込み、資源化している。また、資源化に適さないものについては、「高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設」に持ち込み、破砕処理している。

不燃ごみについて、海老名市・座間市では収集後、市の資源化施設に搬入し、混入した資源物などを選別した後、「高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設」に持ち込み破砕処理している。また、綾瀬市では収集後、直接「高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設」に持ち込み破砕処理している。なお、高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設においては、破砕処理した後、破砕可燃物、資源物（磁選物、アルミ）、破砕残渣に選別し、破砕可燃物及び破砕残渣は「高座クリーンセンターじん芥処理施設」において焼却処理し、資源物はリサイクル事業者等に持ち込み資源化している。

粗大ごみは、収集後、再生使用が不可能と判断されたものについては、「高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設」において破砕処理している。

今後は、現在の処理体制を継続しつつ、焼却残さの広域的な資源化（スラグ化、人工砂化）を実施し、直接最終処分量ゼロを継続していく。また、更新したじん芥処理施設やマテリアルリサイクル施設の効率的な運用により、エネルギー回収、資源回収を推進していく。

（ウ）大和・高座地域

本地域では、大和市と高座清掃施設組合のそれぞれに処理施設をもつ現在の処理体制を継続していくものとする。なお、施設運転の効率化を図るため、ごみの相互受け入れを行うなどの処理体制の構築を図っていく。

イ　事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系ごみは、各市の許可業者により収集・運搬（大和市では自己搬入も認めている）され、大和市においては「大和市環境管理センターごみ焼却処理施設・粗大ごみ処理施設」で、高座地域においては「高座クリーンセンターじん芥処理施設」で処理している。

なお、高座地域では事業系の「不燃ごみ」については処理を行っておらず、各事業者が民間委託により処理することとしている。

また、大和市では、家庭から排出される不燃ごみと同様のものに限定して事業系の不燃ごみを受け入れている。

今後も、現在の処理体制を継続していく。

ウ　一般廃棄物処理施設で併せて処理する廃棄物

本地域では、産業廃棄物の処理を行っていない。

また、将来においても産業廃棄物処理を行わない。

エ　生活排水処理の現状と今後

生活排水処理については、引き続き、市街化区域での公共下水道の整備、下水道の整備が当分見込まれない地域での合併処理浄化槽の普及を進めていく。

また、し尿及び浄化槽汚泥については、現在、大和市が公共下水道終末処理施設で処理し、高座地域が高座クリーンセンター水処理施設で処理を行っている。

今後、大和市においては現状と同様に公共下水道終末処理施設で処理し、高座地域においては、現状と同様に高座クリーンセンター水処理施設で処理する。

オ　今後の処理体制の要点

◇　大和市と高座清掃施設組合の２つの焼却処理施設は、それぞれの地域から搬入されたごみを処理しているが、これら２つの焼却施設を「1ブロック２システム」ととらえ、災害時やそれぞれのシステムのバックアップとして、相互にごみの受入れを行うことで、施設運転の効率化を図っている。

◇　高座清掃施設組合の新施設は熱回収施設で、高効率ごみ発電施設となり、ごみの燃焼に伴い生じるエネルギーのより一層の有効利用を図る。

◇　焼却残さの広域的な資源化（スラグ化、人工砂化など）の実施を進め、最終処分量の削減を目指していく。

◇　高座地域の処理目標の達成を目指し、剪定枝の広域的な処理（資源化）を図るための新たな施設を整備する。

表８　大和・高座地域各市町村の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状（平成30年度）

大和市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル・埋立	大和市環境管理センター ごみ焼却場	【焼却灰】委託（セメント化、溶融、溶融）	32,992
燃やせないごみ	破砕・選別・圧縮	大和市環境管理センター粗大ごみ処理施設	【アルミ・鉄・カレット等】売却、リサイクル【残さ等】大和市環境管理センター ごみ焼却施設（発電）	1,880
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮	大和市環境管理センター粗大ごみ処理施設	【アルミ・鉄・カレット等】売却、リサイクル【残さ等】大和市環境管理センター ごみ焼却施設（発電）	1,318
資源物 紙類	新聞等	売却	大和市柳橋エコセンター 売却	1,435
資源物 紙類	段ボール	保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	1,889
資源物 紙類	雑誌等	選別・圧縮梱包	売却、リサイクル	2,163
資源物 紙類	紙パック	選別・圧縮		131
資源物 紙類	紙製容器包装	選別・保管	大和市環境管理センター	886
資源物 布類		選別		887
資源物 ペットボトル		保管	大和市資源選別所	584
資源物 アルミ		選別・圧縮梱包	売却、リサイクル	358
資源物 スチール		選別・圧縮		318
資源物 使用済小型家電		選別・保管	大和市環境管理センター	4
資源物 空きびん類		選別	大和市資源選別所	1,320
資源物 白色トレイ		保管		44
資源物 その他プラスチック製容器包装		選別・圧縮梱包	民間資源化施設・大和市環境管理センター 委託資源化	1,582
資源物 その他プラスチック製容器包装		焼却・熱回収→発電・リサイクル・埋立	大和市環境管理センター 【破砕残渣】委託（セメント化、溶融、溶融）	1,529
資源物 廃食用油	リサイクル	異物除去・保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	5
資源物 剪定枝	リサイクル		大和市環境管理センター 委託資源化	0
資源物 生ごみたい肥（処理品）	リサイクル	異物除去・保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	1
有害ごみ				

海老名市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル	高座清掃施設組合焼却施設	【焼却灰】委託（セメント化、スラグ化）	19,660
燃やせないごみ（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（セメント化、スラグ化）	489
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却【破砕残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電）	543
資源物 紙類	新聞、広告チラシなど	売却、リサイクル	民間資源化施設	【資源物】売却、リサイクル 911
資源物 紙類	ダンボール			1,145
資源物 紙類	雑誌・古本など			1,009
資源物 紙類	飲料用紙パック			6
資源物 紙類	ミックスペーパー			1,423
資源物 布類		売却、リサイクル	海老名市資源化センター	684
資源物 ペットボトル				【残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電） 540
資源物 缶類				843
資源物 びん類				854
資源物 容器包装プラスチック				指定法人（リサイクル） 1,544
資源物 その他プラスチック				委託（RPF化） 283
資源物 使用済み食用油				委託（インク原料） 43
資源物 剪定枝				
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理			委託（適正処理） 45
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

厚木市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル	高座清掃施設組合焼却施設	【焼却灰】委託（セメント化、スラグ化）	20,610
燃やせないごみ・燃えないごみ・無価値（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設・資源リサイクルセンター	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（セメント化、スラグ化）	262
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設・リサイクルプラザ	【資源物】売却【破砕残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電）	382
資源物 紙類	新聞、広告チラシなど	売却、リサイクル	民間資源化施設	【資源物】売却、リサイクル 891
資源物 紙類	ダンボール			1,077
資源物 紙類	雑誌・古本など			1,314
資源物 紙類	飲料用紙パック			21
資源物 紙類	ミックスペーパー			383
資源物 布類		売却、リサイクル	座間市資源リサイクルセンター・第2資源リサイクルセンター・ペットボトルストックヤード	692
資源物 ペットボトル				【残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電） 498
資源物 缶類				413
資源物 びん・ガラス類				838
資源物 容器包装プラスチック				指定法人（リサイクル） 1,116
資源物 その他資源物				【資源物】売却、リサイクル 585
資源物 廃食用油				【資源物】売却、リサイクル 29
資源物 剪定枝				民間資源化施設 201
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理			委託（適正処理） 47
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

綾瀬市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
可燃ごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル	高座清掃施設組合焼却施設	【焼却灰】委託（セメント化、スラグ化）	13,904
無価値（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（セメント化、スラグ化）	205
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却【破砕残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電）	217
資源物 紙類	新聞、広告チラシなど	売却、リサイクル	綾瀬市リサイクルプラザ	【資源物】売却、リサイクル 187
資源物 紙類	ダンボール			601
資源物 紙類	雑誌・古本など			673
資源物 紙類	飲料用紙パック			51
資源物 紙類	資源となる紙			461
資源物 布類				409
資源物 ペットボトル				【残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電） 269
資源物 缶類				259
資源物 小型家電・金属類				438
資源物 びん類				538
資源物 プラスチック				指定法人（リサイクル） 794
資源物 木製家具類				委託（RPF化） 119
資源物 使用済み食用油				インク原料 36
資源物 剪定枝				綾瀬市　施設（チップ化） 10
資源物				
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理			委託（適正処理） 31
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

今後（令和8年度）

大和市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル・埋立	大和市環境管理センター ごみ焼却場	【焼却灰】委託（セメント化、溶融、溶融）	34,005
燃やせないごみ	破砕・選別・圧縮	大和市環境管理センター粗大ごみ処理施設	【アルミ・鉄・カレット等】売却、リサイクル【残さ等】大和市環境管理センター ごみ焼却施設（発電）	2,480
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮	大和市環境管理センター粗大ごみ処理施設	【アルミ・鉄・カレット等】売却、リサイクル【残さ等】大和市環境管理センター ごみ焼却施設（発電）	1,010
資源物 紙類	新聞等	売却	大和市柳橋エコセンター 売却	988
資源物 紙類	段ボール	保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	1,851
資源物 紙類	雑誌等	選別・圧縮梱包	売却、リサイクル	1,795
資源物 紙類	紙パック	選別・圧縮		118
資源物 紙類	紙製容器包装	選別・保管	大和市環境管理センター	901
資源物 布類		選別		768
資源物 ペットボトル		保管	大和市資源選別所	484
資源物 アルミ		選別・圧縮梱包	売却、リサイクル	347
資源物 スチール		選別・圧縮		231
資源物 使用済小型家電		選別・保管	大和市環境管理センター	0
資源物 空きびん類		選別	大和市資源選別所	1,263
資源物 白色トレイ		保管		37
資源物 その他プラスチック製容器包装		選別・圧縮梱包	民間資源化施設・大和市環境管理センター 委託資源化	3,201
資源物 その他プラスチック製容器包装		焼却・熱回収→発電・リサイクル・埋立	大和市環境管理センター 【破砕残渣】委託（セメント化、溶融、溶融）	0
資源物 廃食用油	リサイクル	異物除去・保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	0
資源物 剪定枝	リサイクル		大和市環境管理センター 委託資源化	612
資源物 生ごみたい肥（処理品）	リサイクル	異物除去・保管	大和市資源選別所 売却、リサイクル	0

海老名市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル・埋立	高座清掃施設組合焼却施設	【焼却灰】委託（セメント化、溶融、溶融）	16,315
燃やせないごみ（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別・圧縮	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（エコセメント化、スラグ化、最終処分）	522
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座清掃施設組合粗大ごみ処理施設	【資源物】売却【破砕残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電）	676
資源物 紙類	新聞、広告チラシ	売却、リサイクル	民間資源化施設	【資源物】売却、リサイクル 672
資源物 紙類	ダンボール			1,498
資源物 紙類	雑誌・古本など			913
資源物 紙類	飲料用紙パック			4
資源物 紙類	ミックスペーパー			2,040
資源物 布類		売却、リサイクル	海老名市資源化センター	798
資源物 缶類				【残渣】高座清掃施設組合焼却施設（発電） 826
資源物 ペットボトル				589
資源物 びん類				946
資源物 容器包装プラスチック				指定法人（リサイクル） 2,172
資源物 その他プラスチック				委託（RPF化） 198
資源物 使用済み食用油				委託（インク原料） 56
資源物 小型電気製品				委託（リサイクル） 218
資源物 剪定枝			民間資源化施設	RPF化、堆肥化 47
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理		海老名市資源化センター	委託（適正処理） 48
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

厚木市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
燃やせるごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル	高座クリーンセンター じん芥処理施設	【焼却灰】委託（人工砂化、スラグ化）	15,773
燃やせないごみ・燃えないごみ・無価値（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別	高座クリーンセンター マテリアルリサイクル施設・資源リサイクルセンター	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（人工砂化、スラグ化）	375
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座クリーンセンター じん芥処理施設・リサイクルプラザ	【資源物】売却【破砕残渣】高座クリーンセンター じん芥処理施設（発電）	329
資源物 紙類	新聞、広告チラシなど	売却、リサイクル	民間資源化施設	【資源物】売却、リサイクル 808
資源物 紙類	ダンボール			1,510
資源物 紙類	雑誌・古本など			1,846
資源物 紙類	飲料用紙パック			29
資源物 紙類	ミックスペーパー			581
資源物 布類		売却、リサイクル	座間市資源リサイクルセンター・第2資源リサイクルセンター・ペットボトルストックヤード	【残渣】高座クリーンセンター じん芥処理施設（発電） 888
資源物 ペットボトル				712
資源物 缶類				533
資源物 びん・ガラス類				1,350
資源物 容器包装プラスチック				指定法人（リサイクル） 1,596
資源物 廃食用油				【資源物】売却、リサイクル 41
資源物 剪定枝			民間資源化施設	民間資源化施設 287
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理			委託（適正処理） 67
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

綾瀬市 分別区分	処理方法	処理施設等 一次処理	処理施設等 二次処理	処理量(t)
可燃ごみ	焼却・熱回収→発電・リサイクル	高座クリーンセンター じん芥処理施設	【焼却灰】委託（人工砂化、スラグ化）	13,896
無価値（その他、各市の収集体制により品目の追加あり）	破砕・選別	高座クリーンセンター マテリアルリサイクル施設	【資源物】売却、リサイクル【焼却残さ】委託（人工砂化、スラグ化）	291
粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・焼却	高座クリーンセンター じん芥処理施設	【資源物】売却【破砕残渣】高座クリーンセンター じん芥処理施設（発電）	382
資源物 紙類	新聞、広告チラシなど	売却、リサイクル	綾瀬市リサイクル協同組合	【資源物】売却、リサイクル 132
資源物 紙類	ダンボール			833
資源物 紙類	雑誌・古本など			646
資源物 紙類	飲料用紙パック			77
資源物 紙類	資源となる紙			657
資源物 布類				547
資源物 ペットボトル				【残渣】高座クリーンセンター（じん芥処理施設（発電） 385
資源物 缶類				348
資源物 小型家電・金属類				540
資源物 びん類				659
資源物 プラスチック				指定法人（リサイクル） 1155
資源物 プラスチック				163
資源物 木製家具類			綾瀬市リサイクルプラザ	18
資源物 布団				10
資源物 羽毛布団				衣料品等 1
資源物 使用済み食用油				インク原料 51
資源物 剪定枝				綾瀬市　施設（チップ化） 7
資源物 未利用食品（生ごみ堆肥）		保管、リサイクル		綾瀬市施設（堆肥） 1
資源物 草木類		売却、リサイクル		委託（RPF化） 235
有害ごみ 蛍光灯	保管、適正処理			委託（適正処理） 27
有害ごみ 水銀灯				
有害ごみ 乾電池				

表９　生活系ごみの分別の種類（平成 30 年４月１日現在）

大和市

分別区分			具体例
燃やせるごみ			生ごみ、革製品、汚れたままの紙、布、衣類、剪定枝、枯葉、雑草、使用済み紙おむつなど
燃やせないごみ			ガラス・陶器類、小さな金属類、小型電気製品、使い捨てライター、乾電池・蛍光灯・水銀体温計・電球など
粗大ごみ			家具、カーペット、じゅうたん、自転車、オルガン、食器棚、畳、布団　など
資源物	紙類	新聞、折込チラシ	新聞、折込チラシ
		段ボール	段ボール
		雑誌等	雑誌・本・その他の紙（ポスター、カレンダー、パンフレットなど）
		紙パック	飲料用紙パック
		紙製容器包装	紙製容器包装
	布類		布類
	空き缶・金物類	アルミ	アルミ缶、鍋、やかん、フライパンなど
		スチール	スチール缶、スプレー缶（中身が空のもの）、その他の缶（18リットルまで）、フライパン、鍋、ホーローなど
	使用済小型家電		携帯電話等、ノート型パソコン、携帯型音響機器、ゲーム機、携帯型ビデオカメラ、デジタルカメラ、電気シェーバー、電卓、卓上電話機、ICレコーダー、電子辞書、携帯型ラジオ、電動歯ブラシ
	ペットボトル		ペットボトル
	空きびん類	生きびん	国産ビールびん、一升びん（何色でも良い）、ウィスキージャンボボトルなど
		透明びん	無色透明のびん、すりガラスびん
		色付きびん	薄い色付きびんを含む
	白色トレイ		表・裏両面が白色の食品トレイ
	その他プラスチック製容器包装		袋・ラップ類、パック・カップ類、プラスチック製のボトル類、緩衝材など
	廃食用油		使用済の植物性の油
	生ごみたい肥（処理品）		電動式生ごみ処理機から発生した堆肥

海老名市

分別区分			具体例
燃やせるごみ・生ごみ			生ごみ、汚れが取れない布・衣類、ぬいぐるみ、座布団、まくら、綿入りの衣料、衛生用品、使い捨てライター革製品など
燃やせないごみ			ガラス類、陶磁器類、鏡類、硯・砥石・磁石、飲食物以外のびん類
粗大ごみ			大型家具類、カーペット、じゅうたん、自転車、ステレオ、健康器具、レジャー用品など
資源物	紙類	新聞と折込チラシ	新聞、折込チラシ
		ダンボール	ダンボール
		本・雑誌類	本・雑誌類
		飲料用紙パック	飲料用紙パック
		ミックスペーパー	ハガキ、封筒、ダイレクトメール、ポスター、値札、OA紙、包装紙、お菓子の紙容器、ちぎった程度の紙など
	布類		洋服、肌着、靴下、シャツ、タオル、シーツ、毛布、カーテンなど
	缶類		飲料用の缶、スプレー缶、のり・お菓子などの食品用の缶
	小型電気製品		ビデオ、携帯電話、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、炊飯器
	家庭用金属類		釘、缶のフタなど小さな金属類、かさ、やかん・なべ・針金ハンガーなど
	ペットボトル		ペットボトル
	びん類		ジュース・酒などの飲料用のびん、調味料のびん、ジャムやお菓子などのびん
	容器包装プラスチック		ポリ袋・ラップ類、トレイ・パック類、カップ類、ボトル類、箱・ケース類、チューブ・ふた類
	その他プラスチック		ハンガー、ポリタンク、文房具、カセット・ビデオテープ・CD・DVD、歯ブラシ、まな板、プランター、プラスチック製のおもちゃなど
	使用済み食用油		使用済みの植物性の油
	剪定枝		
蛍光管・電球・乾電池			蛍光管、電球、乾電池

座間市

分別区分			具体例
燃やすごみ			生ごみ、皮革、ビニール製品、プラスチック類など
燃えないごみ（一部プラスチック製品含む）			スプレー缶、カセットボンベ、化粧品のビン、なべ、やかん、瀬戸物、陶器、蛍光灯、電球、炊飯器、ドライヤーなどの小型電気製品、ガステーブル、かさの骨、子ども用三輪車、CD、DVD、ハンガーなど
粗大ごみ			ソファ・座イス、自転車、ふとん、たんす　など
資源物	紙類	新聞紙、広告チラシなど	新聞紙、広告ちらしなど
		段ボール	段ボール
		雑誌・古本など	雑誌、古本など
		牛乳パック類	牛乳・ジュースのパックなど
		ボール紙類	ボール紙類
		ミックスペーパー	上記以外の紙で、ビニール樹脂加工されていない紙
	布類		衣類、靴下、下着、シーツ、毛布、カーテン、タオルなど
	缶類		ジュース、ビールなどの飲料用の缶、のり・お茶・お菓子などの缶、缶詰などの食品用の缶など
	ペットボトル		飲料用、酒類用、しょうゆ用のペットボトル
	ビン類		ジュース、ビール、酒などの飲料用のビン、しょう油、酢、みりん、調味料などのビン
	プラスチック製容器包装		ポリ袋・ラップ類、トレイ・パック類、カップ類、ボトル類、箱・ケース、ふた類
	廃食用油		使用済み天ぷら油など
剪定枝			長さ1m、太さ直径20cm以内の枝
乾電池類			乾電池

綾瀬市

分別区分			具体例
可燃ごみ			生ごみ、小枝・草・葉、革製品、座布団、まくら、スニーカー、スリッパ、雑巾、ゴム手袋など
無価物			せともの、陶磁器類、ガラス製品、化粧瓶、メガネ、水槽、ホーロー鍋、鏡、ポット、温度計、体温計、電球、ヘルメットなど
粗大ごみ			机、椅子、たんす、食器棚、ソファ、ベッド、布団、じゅーたん、自転車　など
資源物	紙類	新聞	新聞、チラシ
		ダンボール	ダンボール
		雑誌	雑誌
		牛乳パック	牛乳、ジュースなどのパック
		資源となる紙	ノート、メモ用紙、包装紙、封筒、はがき、カレンダー、茶菓子やティッシュの箱、コピー用紙など
	布類		衣類、シーツ、タオルケット、毛布、カーテンなど
	アルミ		ジュース、ビールなどの飲料用の缶、アルミ箔、アルミホイルなど
	スチール缶		飲料用の缶、お茶・お菓子・のりなどの缶、缶詰、一斗缶など
	スプレー缶		ヘアスプレー、殺虫剤、カートリッジ式ガスボンベなど
	小型家電・金属類		アイロン、カセットデッキ、ドライヤー、トースター、ドライバー、のこぎり、はさみ、電話機など
	ペットボトル		飲料用、酒、みりん、しょうゆ、食酢、調味料などのペットボトル
	びん類	生きびん	一升びん、ビールびん
		透明のびん	無色透明のびん
		茶のびん	茶色のびん
		その他のびん	その他の色のびん
	プラスチック		きれいなプラスチック製品（ビデオテープ、CD、バケツ、プランター、玩具など）
			ポリ袋・ラップ類、トレイ・パック類、カップ類、ボトル類、箱・ケース、ふた類
	廃食用油		使用済み天ぷら油など
	剪定枝		長さ1m、太さ直径10cm以内の枝
蛍光灯			蛍光灯
電池			電池

（３）処理施設等の整備

ア　廃棄物処理施設

上記（２）の処理体制で処理を行うため、表 10 のとおり必要な施設整備を行う。

表 10　整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靭化	プラ要件化の経過措置
1	ごみ焼却施設 大和市環境管理センター	エネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業	450t/日	大和市	R3～R5 (R2～R5)	－	○
2	マテリアルリサイクル施設 高座クリーンセンター	（仮称）剪定枝リサイクルセンター（マテリアルリサイクル推進施設）整備事業	3.6ｔ/日	高座清掃施設組合	R5～R10	－	○

（整備理由）

事業番号１：劣化の進行した基幹的設備の改良による１０年程度の焼却工場の長寿命化と温室効果ガスの発生抑制

事業番号２：家庭等から排出される剪定枝のリサイクル化による可燃ごみの減量化と焼却施設への負荷軽減

イ　合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表 11 のとおり行う。

表11　合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事　　業		直近の整備済基数（基）(令和元年度)	整備計画基数（基）	整備計画人口（人）	事業期間	国土強靭化
3	浄化槽設置整備事業						
		大和市	197	15	85	R3～R7	－
		海老名市	768	20	120	R3～R7	－
		綾瀬市	0	10	64	R4～R7	－
	合　　計		965	45	269		

（４）施設整備に関する計画支援事業

ア　廃棄物処理施設

上記（３）の施設整備に先立ち、表 12 のとおり計画支援事業を行う。

表 12 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間	プラ要件化の経過措置
31	高座地域マテリアルリサイクル施設（事業番号２）に係る実施設計等委託事業	実施設計等	Ｒ８	○
32	高座地域マテリアルリサイクル施設（事業番号２）に係る旧施設解体実施設計委託事業	汚染物質調査 実施設計	Ｒ４	○
33	高座地域マテリアルリサイクル施設（事業番号２)に係る基本計画及びPFI等導入可能性調査委託事業	基本計画の策定及び事業の経済性や継続性等の調査検討	Ｒ５	○
34	高座地域マテリアルリサイクル施設（事業番号２）に係る生活環境影響調査委託事業	施設整備に係る環境についての調査及び、予測、評価等	Ｒ５・Ｒ６	○

（５）その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア　再生利用品の需要拡大事業

ごみの発生・排出抑制のため、不用品交換制度の維持、フリーマーケット活動場所の提供等の支援を行う。

また、各市のリサイクルプラザ等において再生家具の販売等を継続する。

さらに、市民・事業者・地域等において、ごみの発生・排出抑制の活動が展開され、効果が認められる場合は、その取り組みに対してできる限り支援を行う。

イ　廃家電及び使用済小型家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電、パソコンについては、特定家庭用機器再商品化法、資源有効利用促進法に基づくリサイクルシステムの理解と、リサイクルの手順、関係する業者、引き取り先等の周知を徹底する。

また、廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

使用済小型家電については、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づく適正な資源化を推進する。

ウ　不法投棄対策

不法投棄の防止対策を、パトロールの実施、管理責任者の周知及び防止対策の指導、法的対応の検討により行う。

エ　災害時の廃棄物処理に関する事項

大和市、海老名市、座間市、綾瀬市では、大震災や台風、豪雨等の自然災害、大規模な人的災害等により発生する災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理し、生活環境の保全・公衆衛生の確保、早期の復旧・復興を実現するために、災害廃棄物処理計画を策定している。

今後の災害時の廃棄物処理については、各自治体の地域防災計画、大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画等を踏まえ、大和市と高座清掃施設組合において、相互協力を行い、より効率的な処理を行うとともに、神奈川県、近隣自治体とも連携し、災害時の廃棄物処理体制の確保を図る。

４　計画のフォローアップと事後評価

（１）計画のフォローアップ

本地域は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、本地域、神奈川県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、見直しを行う。

（２）事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

ー 添 付 書 類 ー

○様式１：循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表１
○様式２：循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表２
○様式３：地域の循環型社会形成推進のための施策一覧
○参考資料様式１：施設概要（マテリアルリサイクル施設系）
○参考資料様式２：施設概要（エネルギー回収施設系）
○参考資料様式７：施設概要（浄化槽系）
○参考資料様式８：計画支援概要
○大和市ハザードマップ
○海老名市ハザードマップ
○座間市ハザードマップ
○綾瀬市ハザードマップ

様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画　総括表1

1 地域の概要

(1)地域名	大和高座ブロック	(2)地域内人口	586,132人	(3)地域面積	93.39㎢
(4)構成市町村等名	大和市　海老名市　座間市　綾瀬市　高座清掃施設組合	(5)地域の要件*	(人口)　面積　沖縄　離島　奄美　豪雪　山村　半島　過疎　その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村:海老名市　座間市　綾瀬市		設立年月日:　昭和38年12月28日　設立		

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目すべてに〇を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 / 年		過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目　標	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和8年度	
排出量	事業系　総排出量(トン)	33,717	33,727	34,508	35,592	36,340	27,029	(-25.6%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	1.85	1.83	1.89	1.95	2.02	1.50	(-25.6%)
	生活系　総排出量(トン)	135,145	134,393	131,740	129,609	127,975	124,972	(-2.3%)
	1人当たりの排出量(kg/人)	168	167	164	161	159	140	(-12.0%)
	合計　事業系生活系の総排出量合計(トン)	168,862	168,120	166,248	165,201	164,315	152,001	(-7.5%)
再生利用量	直接資源化量(トン)	29,279 (17.3%)	28,636 (17.0%)	27,299 (16.4%)	26,788 (16.2%)	26,059 (15.9%)	29,342	(19.3%)
	総資源化量(トン)	45,006 (26.4%)	45,437 (26.8%)	46,027 (27.5%)	46,317 (27.8%)	45,452 (27.5%)	53,613	(35.2%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量　(年間の発電電力量　MWH)	26,882	25,746	24,811	24,438	32,650	42,098	
	エネルギー回収量　(年間の熱利用量　GJ)	611,357	611,390	597,169	578,315	578,883	683,805	
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	4,868 (2.9%)	3,737 (2.2%)	1,832 (1.1%)	983 (0.6%)	805 (0.5%)	177	(0.1%)

※　別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。(添付資料1)

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画　総括表1

3　一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1)現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	風水害災害時において想定される浸水深と対策	備考
ごみ焼却施設	大和市環境管理センター	大和市	ストーカー式、全連続式	450t/日	H6.3	未定	未定	浸水想定区域外	
じん芥処理施設	高座クリーンセンター	高座清掃施設組合	ストーカー式、灰資源化方式	122.5t/日×2炉	H31.4	未定	未定	(浸水深0.5m～3.0未満)施設は4mのかさ上げがされている。周辺道路の浸水により施設へ廃棄物が搬入できなくなった場合は、別ルートからの臨時搬入路を通じて搬入が行えるよう整備されている。	
ごみ焼却施設	高座清掃施設組合	高座清掃施設組合	流動床式、全連続燃焼式	150t/日	S59.4	H31.3廃止	R8.9解体予定	【浸水深】 0.5m～3.0m未満の浸水想定区域 【対策】 施設床高が浸水区域から＋2.0mあり土嚢多段積みで対応	令和5年解体着手
ごみ焼却施設	高座清掃施設組合	高座清掃施設組合	流動床式、全連続燃焼式	200t/日	H4.4	H31.3廃止	R8.9解体予定	【浸水深】 0.5m～3.0m未満の浸水想定区域 【対策】 施設床高が浸水区域から＋2.0mあり土嚢多段積みで対応	令和5年解体着手
粗大ごみ処理施設	大和市環境管理センター	大和市	破砕・選別・圧縮	80t/5H	H6.3	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル施設	高座クリーンセンター	高座清掃施設組合	破砕・選別	14t/5H	H31.4	未定	未定	(浸水深0.5m～3.0未満)施設は4mのかさ上げがされている。周辺道路の浸水により施設へ廃棄物が搬入できなくなった場合は、別ルートからの臨時搬入路を通じて搬入が行えるよう整備されている。	
粗大ごみ処理施設	高座清掃施設組合	高座清掃施設組合	破砕・選別・圧縮	50t/5H	S49.4	H31.3廃止	R3.7解体	【浸水深】 0.5m～3.0m未満の浸水想定区域 【対策】 施設地盤高が浸水区域から＋6.3mあり浸水のおそれはない	令和3年解体済
最終処分場	大和市最終処分場	大和市	管理型処分場	61,385㎥	H3.4	未定	未定	浸水想定区域外	
水処理施設	高座クリーンセンター	高座清掃施設組合	固液分離方式	48kl/日	H26.4	未定	未定	(浸水深0.5m～3.0未満)過去において、元地盤11.50m地点まで浸水が確認されているため、施設は13.0mまでかさ上げがされている。周辺道路の浸水により施設へ廃棄物が搬入できなくなった場合は、別ルートからの臨時搬入路を通じて搬入が行えるよう整備されている。	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	資源化施設(資源選別所)	大和市	選別・圧縮・保管	4.5t/5H	H5.12	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	大和市環境管理センター	大和市	選別・圧縮・梱包	4.5t/5H	R1.7	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	海老名市資源化センター	海老名市	選別・保管	25.6t/5H	H13.6.1	未定	未定	【浸水深】 0.5m未満の浸水想定区域 【対策】 土嚢設置対応	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	第二高齢者生きがい会館	海老名市	再生	－	H31.4	未定	未定	【浸水深】 0.5m未満の浸水想定区域(ただし、一部箇所で3m未満あり) 【対策】 3m未満箇所にある物は、0.5m未満の場所へ移動。0.5m未満の場所については土嚢設置対応	市の単独設置施設
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	座間市資源リサイクルセンター	座間市	選別・保管	35t/5H	H26.7	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	座間市第2資源リサイクルセンター	座間市	選別・圧縮・保管	21.25t/日	H27.10	未定	未定	【浸水深】 5m 【対策】 浸水等で施設の利用ができなくなった際は、地域防災計画及び災害廃棄物処理計画等に基づき、浸水可能性のない、ブロック内別施設で処理予定	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	座間市リサイクルプラザ	座間市	再生	－	H16.6	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル推進施設(ストックヤード)	座間市ペットボトル保管所	座間市	保管	－	H10.10	未定	未定	浸水想定区域外	
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	綾瀬市リサイクルプラザ	綾瀬市	再生	－	H12.7	未定	未定	浸水想定区域外	

※計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付した。(添付資料2)

(2)更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設の解体の有無(解体施設の名称)	廃焼却施設解体事業	風水害災害時において想定される浸水深と対策	プラスチック再商品化を実施するための施設整備事業	備考
ごみ焼却施設	環境管理センター ごみ焼却施設	大和市	ストーカー式、全連続式	450t/日	R6.3	老朽化	無	無	浸水想定区域外	－	R2年度～R5年度基幹的設備改良工事
マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)	(仮称)剪定枝リサイクルセンター	高座清掃施設組合	破砕・選別	3.6t/日	R11.3	焼却ごみ削減・資源化の促進	有 ごみ焼却施設	着手予定:令和5年6月 完了予定:令和11年3月	(浸水深0.5～3.0m未満)R4～R5年度にかけて実施する測量業務により、かさ上げ等の浸水対策を検討します。	－	ごみ焼却施設の跡地に整備

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状					目 標
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和8年度
総人口		575,862	576,959	578,640	581,104	582,853	589,761
公共下水道人口	汚水衛生処理人口	544,183	546,561	548,900	554,221	554,094	569,714
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	94.5%	94.7%	94.9%	95.4%	95.1%	96.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	12,067	12,038	12,171	12,170	12,011	14,781
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	19,612	18,360	17,569	14,713	16,748	5,266

※別添資料として指標と人工等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料1)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備 考
		基 数	処理人口	開始年月	基 数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	大和市	197	902	H1	15	85	R8	
浄化槽設置整備事業	海老名市	768	4,925	H9.4.1	20	120	R8	
浄化槽設置整備事業	綾瀬市				10	64	R8	

※計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上で示したものを添付した。(添付資料3)

添付資料１　人口、ごみ量、汚泥量等のトレンドグラフ

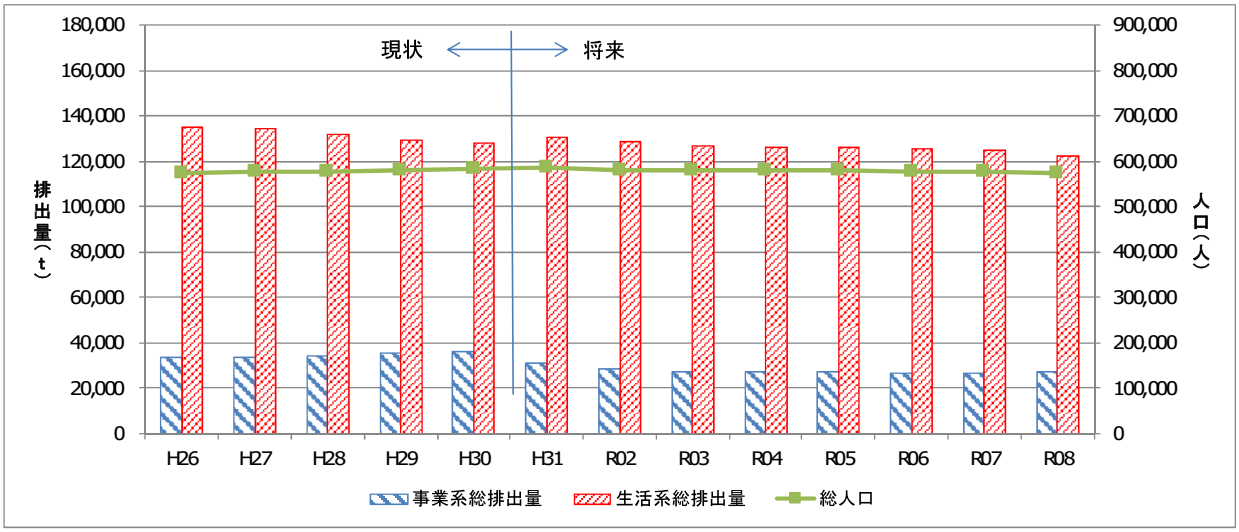


図14　人口とごみ量の推移

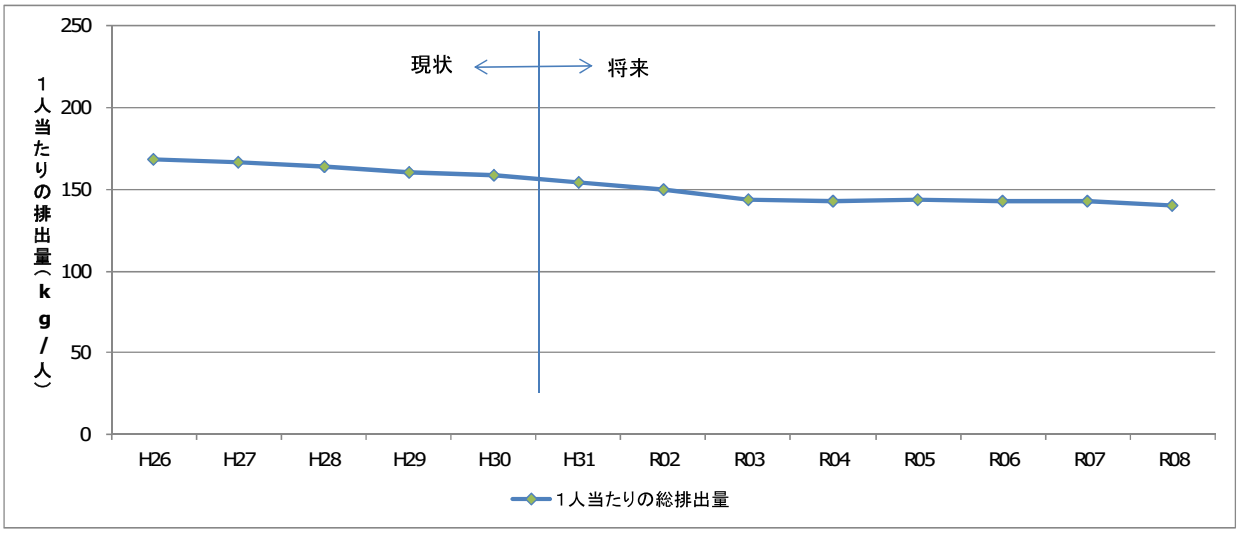


図15　生活系ごみ（資源物除く）1人当たりの排出量の推移

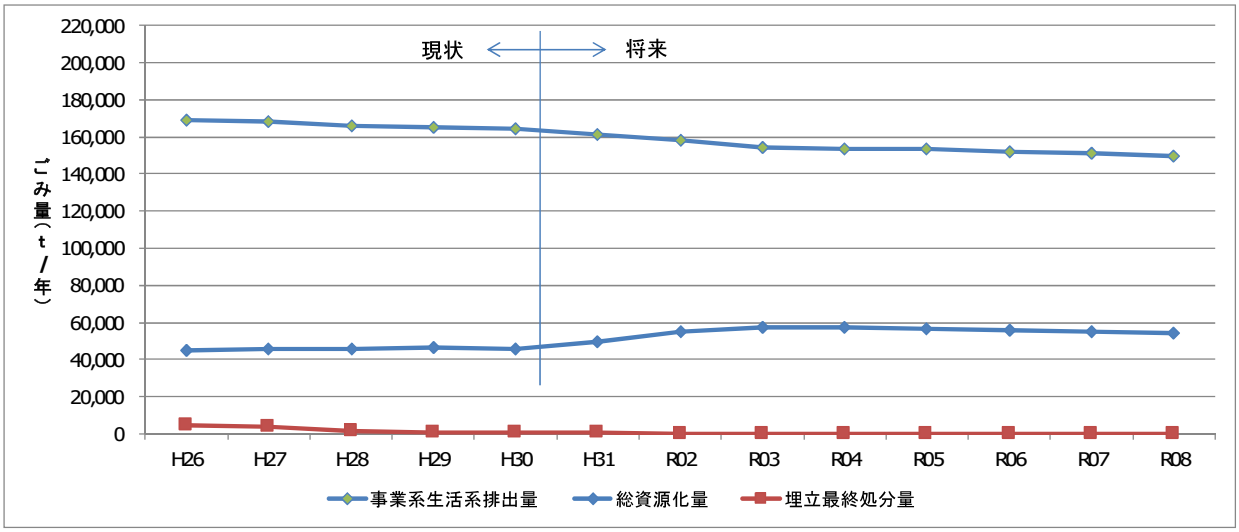


図16　排出量・資源化量・最終処分量の推移

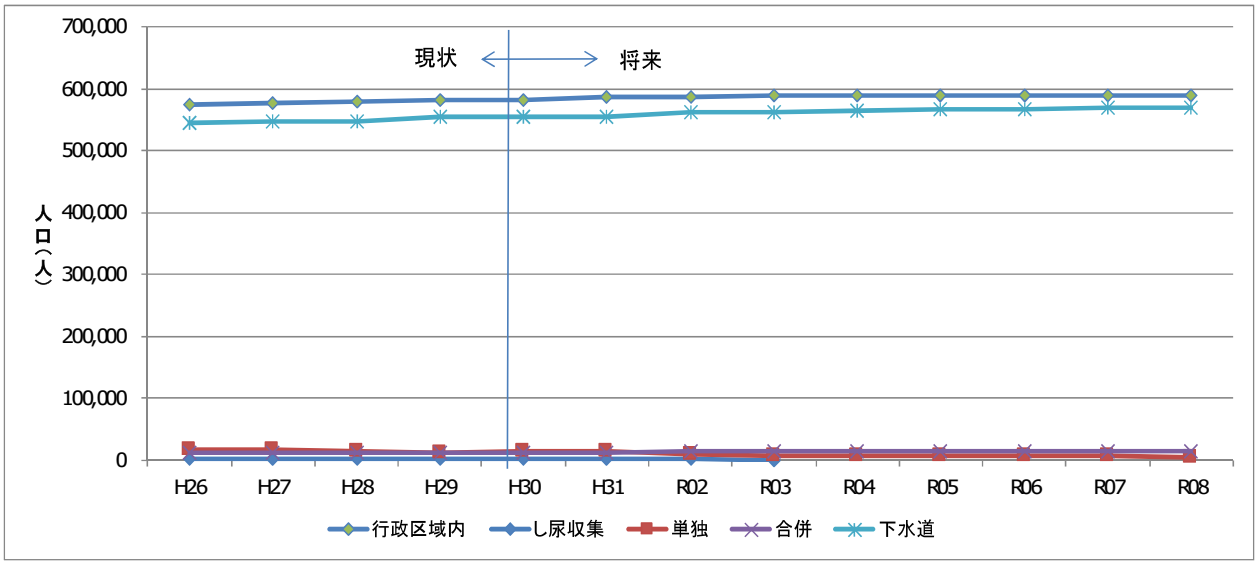


図17　生活排水処理形態別人口の推移

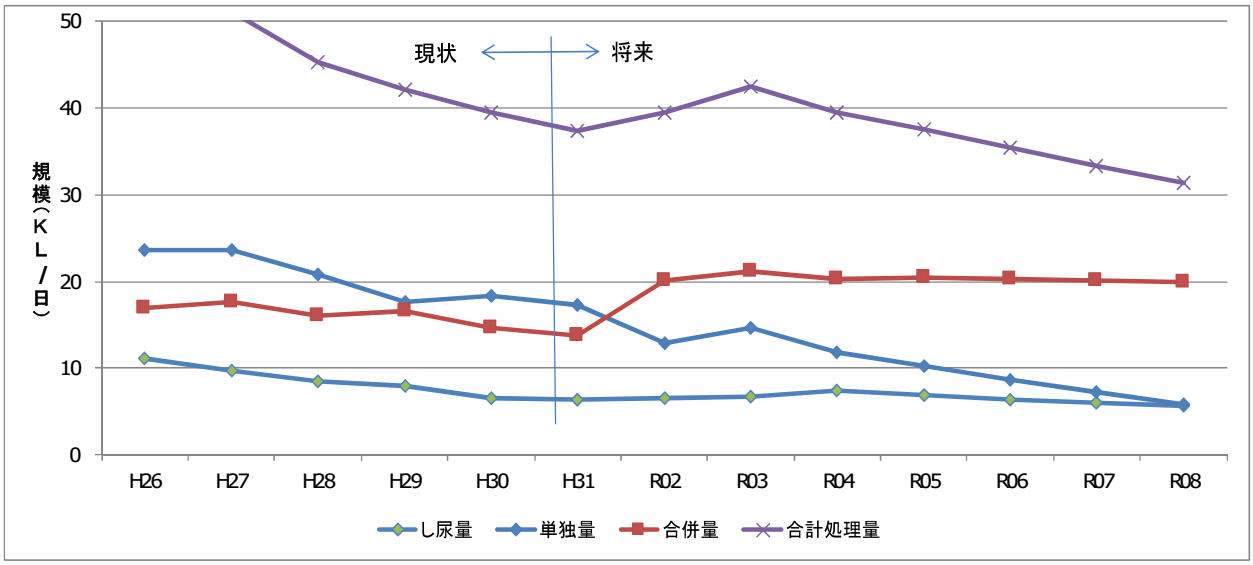


図18　し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移

添付資料２　計画地域内の施設の状況（現況、予定）

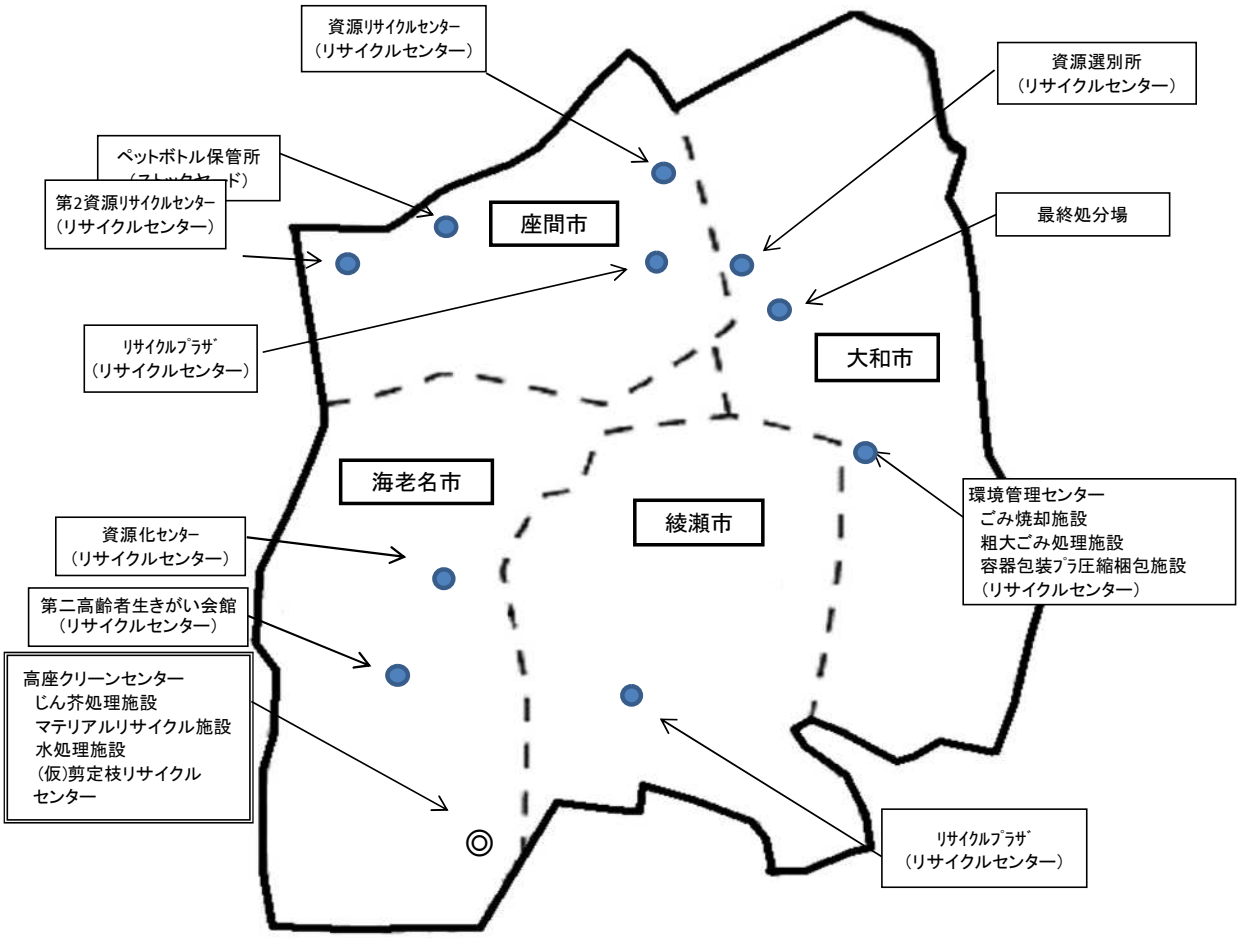


図19　計画地域内の施設の状況（現況、予定）

施設名	事業主体	所在地	施設種別	処理する廃棄物	処理能力	開始年月日
大和市環境管理センター ごみ焼却施設	大和市	大和市草柳3-12-1	ごみ焼却施設	可燃ごみ	450t/日	H6.3
大和市環境管理センター 粗大ごみ処理施設	大和市	大和市草柳3-12-1	粗大ごみ処理施設	不燃ごみ、粗大ごみ	80ｔ/5H	H6.3
大和市環境管理センター 容器包装ﾌﾟﾗ圧縮梱包施設	大和市	大和市草柳3-12-1	リサイクルセンター	容器包装プラスチック類	4.5t/5H	R1.7
資源化施設（資源選別所）	大和市	大和市上草柳563－11	リサイクルセンター	資源物	4.5t/5H	H5.12
大和市最終処分場	大和市	大和市上草柳46-1	最終処分場	焼却灰	61,385m^3	H3.4
海老名市資源化センター	海老名市	海老名市大谷南5-7-27	リサイクルセンター	不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ	25.6ｔ/5H	H13.6
第二高齢者生きがい会館	海老名市	海老名市杉久保北2-1-10	リサイクルセンター	粗大ごみ	－	H31.4
座間市資源リサイクルセンター	座間市	座間市小松原1-45-16	リサイクルセンター	びん・缶・廃食用油・燃えないごみ	35t/5H	H26.7
座間市第２資源リサイクルセンター	座間市	座間市新田宿2216	リサイクルセンター	容器包装プラスチック類	21.25ｔ/日	H27.10
座間市リサイクルプラザ	座間市	座間市東原2-16-10	リサイクルセンター	粗大ごみ	－	H16.6
座間市ペットボトル保管所	座間市	座間市入谷西3-44-17	ストックヤード	ペットボトル	－	H10.10
綾瀬市リサイクルプラザ	綾瀬市	綾瀬市吉岡1643-1	リサイクルセンター	粗大ごみ	－	H12.7
高座クリーンセンター じん芥処理施設	高座清掃施設組合	海老名市本郷1-1	ごみ焼却施設	可燃ごみ	122.5t/日×２炉	H31.4
高座クリーンセンター マテリアルリサイクル施設	高座清掃施設組合	海老名市本郷1-1	粗大ごみ処理施設	不燃ごみ、粗大ごみ	14t/5H	H31.4
高座クリーンセンター 水処理施設	高座清掃施設組合	海老名市本郷1-1	し尿処理施設	し尿、浄化槽汚泥	48KL/日	H26.4
（仮称）剪定枝リサイクルセンター	高座清掃施設組合	海老名市本郷308-1	リサイクルセンター	剪定枝	3.6ｔ/日	R11.3

添付資料３　計画地域内の施設の状況（合併処理浄化槽整備区域）

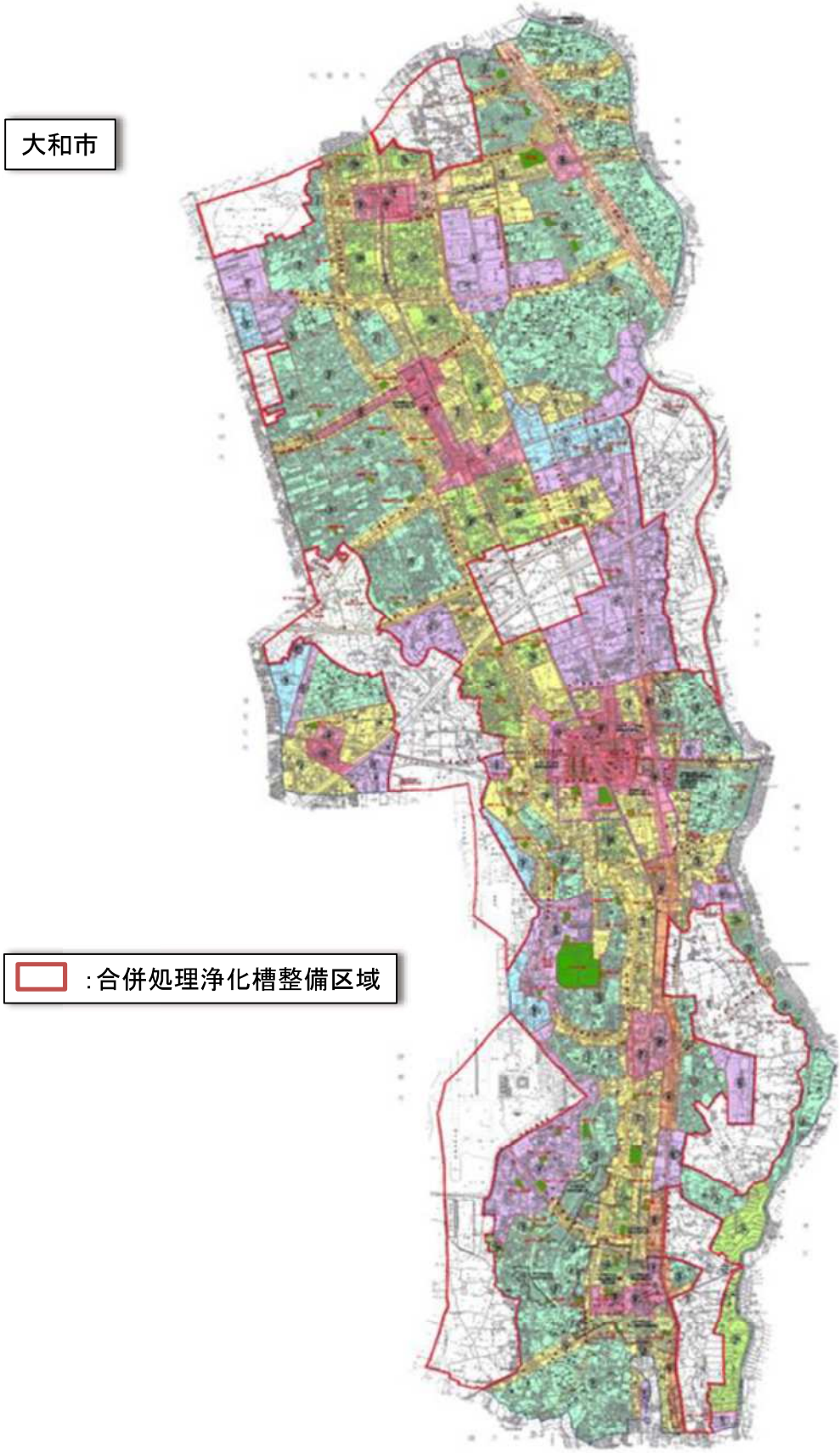


図20　計画地域内の施設の状況（大和市　合併処理浄化槽整備区域）

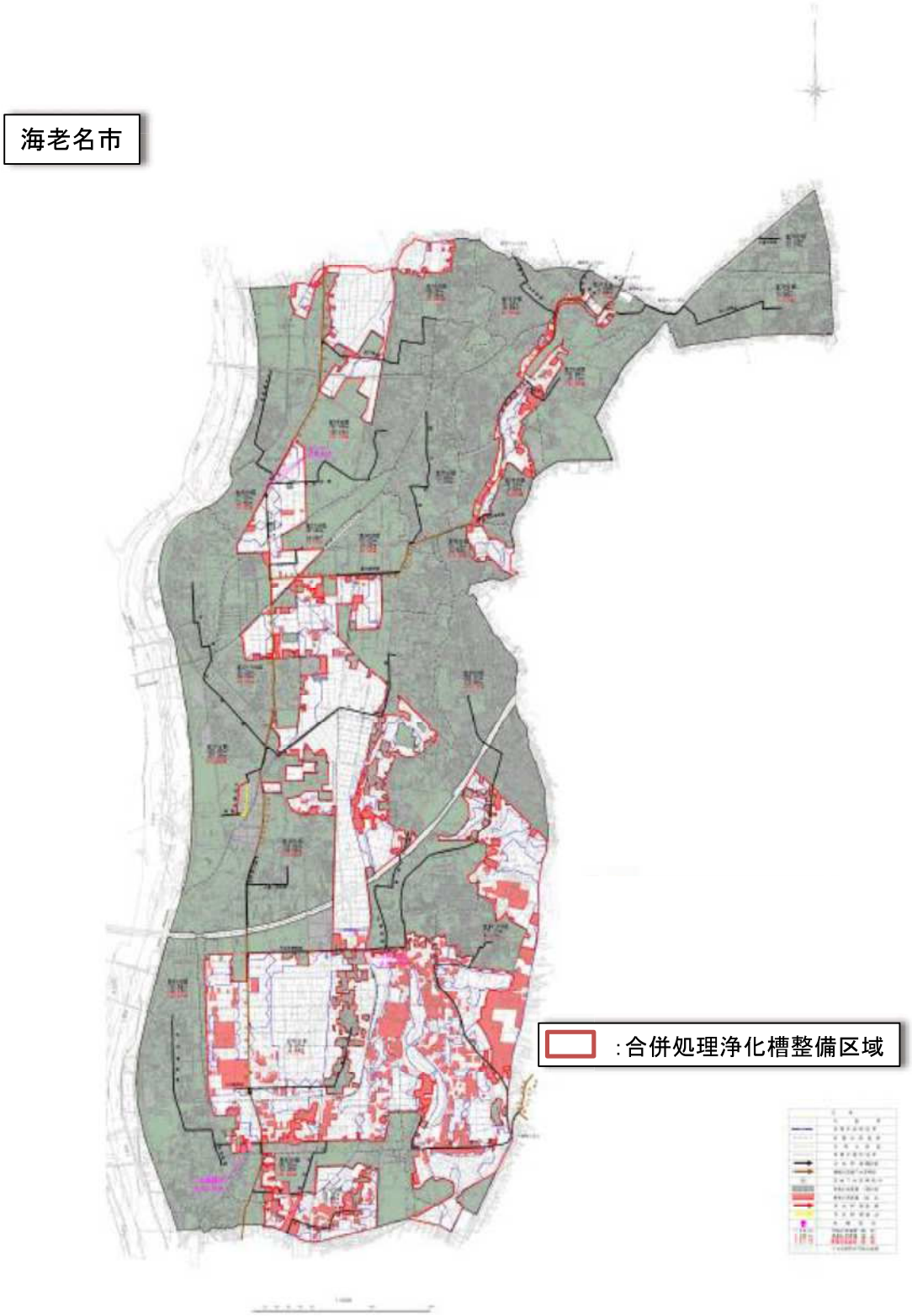
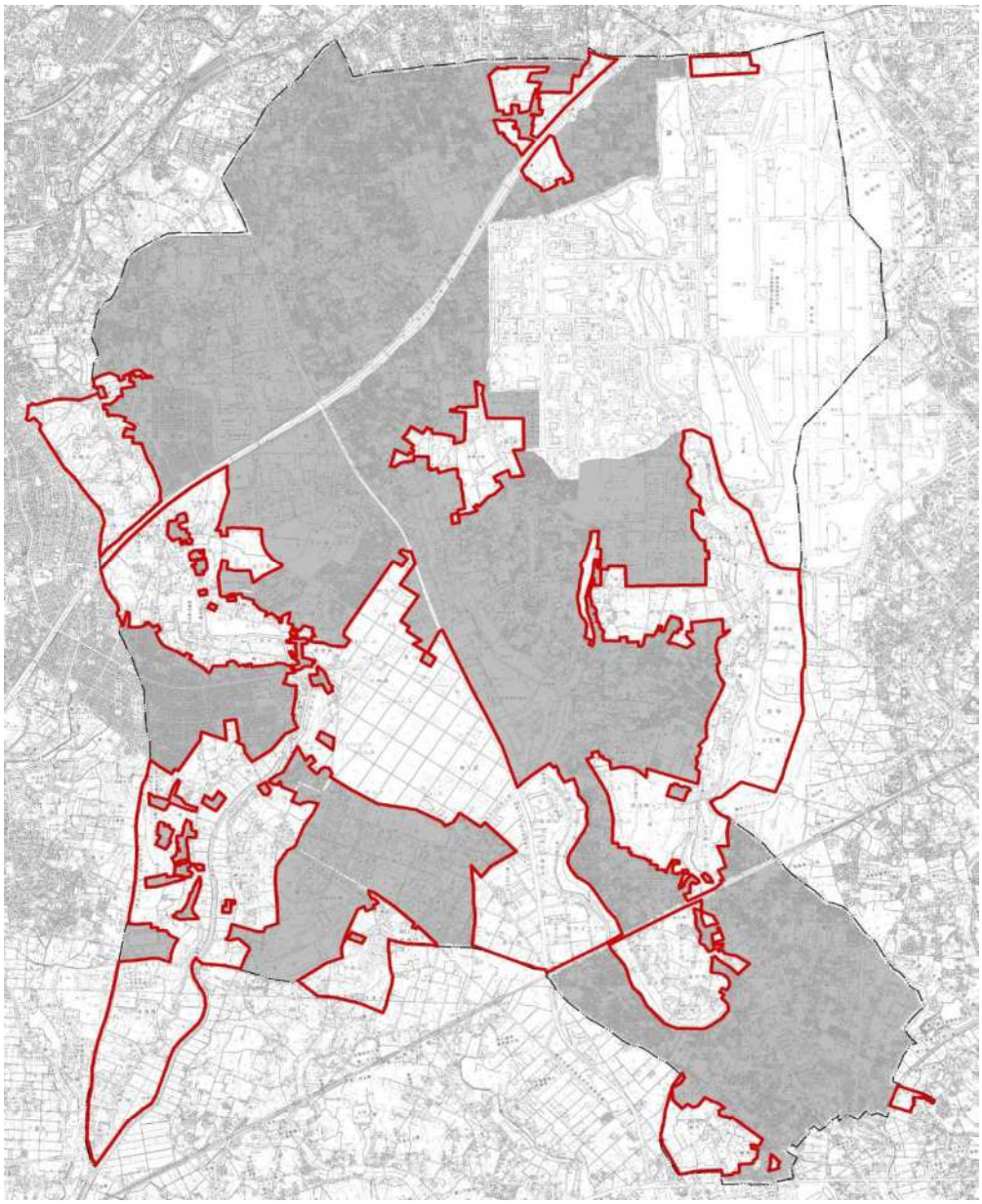


図21　計画地域内の施設の状況（海老名市　合併処理浄化槽整備区域）

綾瀬市



:合併処理浄化槽整備区域

図22　計画地域内の施設の状況（綾瀬市　合併処理浄化槽整備区域）

様 式 2

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2（令和3年度）

事業種別	事業名称	事業番号※1	事業主体名称※2	規模	単位	事業期間 開始	事業期間 終了	総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	交付対象事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
○マテリアルリサイクル等に関する事業								1,505,616	0	0	793,298	635,357	76,961	1,365,625	0	0	702,212	593,717	69,696	
リサイクルセンター								1,505,616	0	0	793,298	635,357	76,961	1,365,625	0	0	702,212	593,717	69,696	
	（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備事業	2	高座清掃施設組合	3.6	t/日	R5	R7	1,505,616	0	0	793,298	635,357	76,961	1,365,625	0	0	702,212	593,717	69,696	全体の事業期間はR5～R10 海老名市、座間市 綾瀬市、R5～R8は廃炉解体
○エネルギー回収等に関する事業								5,852,082	1,444,463	2,113,848	2,293,771	0	0	3,026,829	816,641	1,188,510	1,021,678	0	0	
	エネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業	1	大和市	450	t/日	R3	R5	5,852,082	1,444,463	2,113,848	2,293,771	0	0	3,026,829	816,641	1,188,510	1,021,678	0	0	全体の事業期間はR2 ～R5
○浄化槽に関する事業								26,246	4,618	6,062	6,122	4,722	4,722	26,246	4,618	6,062	6,122	4,722	4,722	
	浄化槽設置整備	3	大和市	15	基	R3	R7	5,390	1,078	1,078	1,078	1,078	1,078	5,390	1,078	1,078	1,078	1,078	1,078	
	浄化槽設置整備	3	海老名市	20	基	R3	R7	14,900	3,540	3,540	3,540	2,140	2,140	14,900	3,540	3,540	3,540	2,140	2,140	
	浄化槽設置整備	3	綾瀬市	8	基	R4	R7	5,956	0	1,444	1,504	1,504	1,504	5,956	0	1,444	1,504	1,504	1,504	
	浄化槽市町村整備推進							0						0						
○施設整備に関する計画支援事業								43,225	0	24,184	17,163	1,878	0	34,680	0	21,780	12,900	0	0	
	マテリアルリサイクル施設（事業番号2）に係る実施設計等委託業務	31	高座清掃施設組合			R8	R8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	海老名市 座間市、綾瀬市
	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る旧施設解体実施設計委託業務	32	高座清掃施設組合			R4	R4	24,184	0	24,184	0	0	0	21,780	0	21,780	0	0	0	海老名市 座間市、綾瀬市
	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る整備基本計画策定及びPFI等導入可能性調査委託業務	33	高座清掃施設組合			R5	R5	16,731	0	0	16,731	0	0	12,900	0	0	12,900	0	0	海老名市 座間市、綾瀬市
	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る生活環境影響調査委託業務	34	高座清掃施設組合			R5	R6	2,310	0	0	432	1,878	0	0	0	0	0	0	0	海老名市 座間市、綾瀬市
合計								7,427,169	1,449,081	2,144,094	3,110,354	641,957	81,683	4,453,380	821,259	1,216,352	1,742,912	598,439	74,418	

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。
※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。
※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。
※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

様 式 3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間 開始	事業期間 終了	交付金必要の要否	事業計画 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	生活系ごみの有料化	生活系ごみ袋有料化の効果の検証	大和市・海老名市	R3	R7		継続実施					
			生活系ごみ有料化（導入する場合）	座間市・綾瀬市	R3	R7		実施					
	12	事業系ごみの有料化	事業系有料指定ごみ袋制度の導入	大和市	R3	R7		継続実施					
			事業系ごみ処理料金の改定の検討	海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	13	環境教育、普及啓発の推進	環境教育、普及啓発によるごみの減量化、資源化の推進	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	14	支援助成	助成によるごみの減量化、資源化の推進	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	15	レジ袋対策	レジ袋の削減、マイバック運動の促進の推進	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	16	事業系ごみの発生抑制	事業者への減量化指導	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	17	その他プラスチック及び廃食用油の分別収集	その他プラスチックのRPF化、廃食用油のインク原料	海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	18	剪定枝の資源化	剪定枝の資源化	海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	19	生活排水普及啓発活動	生活排水対策に関する普及啓発活動を行う。	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	資源化の推進	資源物の排出箇所の数の増加、収集回数の見直し、資源品目の追加等 熱エネルギー利用、資源の効率的処理の推進、焼却残さの再生利用	大和市	R3	R7		継続実施					
	22	効率的な収集・運搬体制の確保	収集・運搬体制の確保と必要に応じた見直し	海老名市・座間市・綾瀬市	R3	R7		継続実施					
	23	焼却残さの資源化	焼却残さの広域的な資源化（スラグ化、人工砂化）の実施	高座清掃施設組合	R3	R7		継続実施					
	24	広域システムの構築	4市の役割負担や費用負担の検討	大和・高座地域	R3	R7							
処理施設の整備に関するもの	1	エネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業	焼却処理施設の基幹的設備改良工事	大和市	R3	R5	○	基幹改良					全体事業期間R2～R5
	2	（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備	剪定枝のリサイクル化による可燃ごみの削減	高座清掃施設組合	R5	R7	○			廃炉解体			建設工事期間R9～R10
	3	合併処理浄化槽整備	合併処理浄化槽の設置	大和市 海老名市	R3	R7	○	合併処理浄化槽整備					
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	マテリアルリサイクル施設（事業番号2）に係る実施設計等委託業務	実施設計等	高座清掃施設組合	R8	R8	○						関連事業2
	32	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る旧施設解体実施設計委託業務	汚染物質調査、実施設計等	高座清掃施設組合	R4	R4	○		調査設計				関連事業2
	33	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る整備基本計画策定及びPFI等導入可能性調査委託業務	基本計画の策定及び事業の経済性や継続性等の調査検討	高座清掃施設組合	R5	R5	○			計画調査			関連事業2
	34	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る生活環境影響調査委託業務	施設整備に係る環境についての調査及び、予測、評価等	高座清掃施設組合	R5	R6				環境調査			関連事業2
その他	41	再生利用品の需要拡大	リサイクルセンターで回収する資源に基づく再生品の利用拡大	大和・高座地域	R3	R7		継続実施					
	42	廃家電及び使用済小型家電のリサイクルに関する普及啓発	廃家電、パソコンの引き取り先等の周知徹底、廃家電の適切な再商品化のための普及啓発	大和・高座地域	R3	R7		継続実施					
	43	不法投棄対策	不法投棄対策の強化	大和・高座地域	R3	R7		継続実施					
	44	災害廃棄物の対策	災害時に発生する廃棄物の処理体制を確保する。	大和・高座地域	R3	R7		災害時の廃棄物処理体制の確保					

※1　処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

【参考資料様式 1】

施設概要（マテリアルリサイクル施設系）

都道府県名　　神奈川県

(1) 事業主体名	高座清掃施設組合
(2) 施設名称	（仮称）剪定枝リサイクルセンター
(3) 工期　※1	令和５年度　～　令和７年度 （全体　令和５年度～令和１０年度）
(4) 施設規模	処理能力　3.6ｔ/日
(5) 処理方式	破砕、選別
(6) 地域計画内の役割 ※2	実施計画で掲げている生活系一般廃棄物の減量化と再生利用量の増加の目標を目指し、各市で独自に取り組んでいる剪定枝のリサイクル化の多様化を図るため、（仮称）剪定枝リサイクルセンターの整備を行う。 リサイクル化されたウッドチップは、燃料用として計画している温浴施設で活用するとともに、バイオ燃料としての販路を目指す。
(7) 廃焼却炉施設解体工事の有無	(有)　無

「ストックヤード」を整備する場合

(8) ストック対象物	

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル推進の内訳	

「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラグの利用計画	

(11) 総事業計画額　※1	1,505,616千円（全体：2,817,023千円） うち交付対象事業費　1,365,625千円（全体： 2,435,851千円） （R5年度～R10年度）廃焼却施設の解体含む

※1　事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の工期、金額を記載し、全体の工期、金額を括弧書きすること。

※2　基幹的設備改良事業を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。

【参考資料様式２】

施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名　　神奈川県

(1) 事業主体名	大和市
(2) 施設名称	大和市環境管理センター（ごみ焼却施設）（基幹的設備改良）
(3) 工期　※1	令和３年度　～　令和５年度 （全体：令和２年度～令和５年度）
(4) 施設規模	処理能力　　450t／日　(150t／日×3炉)
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼式
(6) 余熱利用の計画	１．発電の有無　　有　（発電効率　　10%　　）　・　無 ２．熱回収の有無　　有　（熱利用率　　4%　　）　・　無
(7) 地域計画内の役割 ※1	竣工から20年以上が経過した大和市環境管理センター（ごみ焼却施設）の老朽化に対応するため、温室効果ガスの削減（二酸化炭素削減率10%以上）及びごみの安定処理を行うため、基幹的設備の改良を行う。 また、焼却に伴い発生する熱を廃熱ボイラーで回収し蒸気を発生させ、熱源として場内（市民開放施設を含む）及び隣接する温水プールへ供給しているほか、蒸気タービン発電機による発電を行い、場内及び隣接する温水プール、公園、野球場へ供給し、余剰電力は売電を行う。
(8) 廃焼却施設解体 工事の有無	有　　無

「ごみ燃料化施設」を整備する場合

(9) 燃料の利用計画	

「メタンガス化施設」を整備する場合

(10) バイオガス熱利用率	ｋWh／ごみｔ
(11) バイオガスの利用計画	

(12) 総事業計画額　※2	5,852,082千円（全体：5,871,801千円） うち、交付対象事業費2,874,072千円（全体：2,893,652千円）

※1　事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の工期、金額を記載し、全体の工期、金額を括弧書きすること。

※2　基幹的設備改良事業を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。また、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用する場合は、廃棄物処理施設で生じた熱や発電した電力を地域でどう利活用するかについても記載すること。

【参考資料様式７】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名　　神奈川県

(1) 事業主体名	大和市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全を図るため、既存単独処理浄化槽またはくみ取り式便層から浄化槽への設置換えを使用する者に対し補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和３年度～令和７年度
(5) 事業対象地域の要件	下水道法第４条第１項による事業計画に定められた区域以外の区域
(6) 事業計画額	交付対象事業費　5,390 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 0 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費　0 千円

○　事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 （８５人分）	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	１０基（　５０人分）	3,320千円	3,320千円	3,320千円
6～ 7 人槽	５基（　３５人分）	2,070千円	2,070千円	2,070千円
8～10 人槽	基（　人分）			
11～20 人槽	基（　人分）			
21～30 人槽	基（　人分）			
31～50 人槽	基（　人分）			
51 人槽以上	基（　人分）			
宅内配管費	基			
撤去費	基			
雨水貯留槽等再利用	基			
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合　計	１５基（　８５人分） ※基数の合計には、宅内配管費、撤去費、改築費を除く。	5,390千円	5,390千円	5,390千円

【参考資料様式７】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名　　神奈川県

(1) 事業主体名	海老名市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質及び生活環境の悪化を防止するため、単独処理浄化槽又は汲み取り式便槽から合併処理浄化槽への設置替え（建築確認を伴わないもの）をする者に対して、補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和３年度～令和７年度
(5) 事業対象地域の要件	下水道法第４条第１項に基づき策定された事業計画に定められた予定処理区域以外の区域のうち相当の期間下水道整備が見込まれない区域
(6) 事業計画額	交付対象事業費　17,700 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 0 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費　　0 千円

○　事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 （１７０人分）	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	１０基（　５０人分）	3,320千円	3,320千円	3,320千円
6～ 7 人槽	１０基（　７０人分）	4,140千円	4,140千円	4,140千円
8～10 人槽	５基（　５０人分）	2,740千円	2,740千円	2,740千円
11～20 人槽	基（　　人分）			
21～30 人槽	基（　　人分）			
31～50 人槽	基（　　人分）			
51 人槽以上	基（　　人分）			
宅内配管費	25 基	7,500千円	7,500 千円	7,500 千円
撤去費	基			
雨水貯留槽等再利用	基			
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合　計	２５基（１７０人分） ※基数の合計には、宅内配管費、撤去費、改築費を除く。	17,700千円	17,700千円	17,700千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名　　神奈川県

(2) 事業主体名	綾瀬市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活系排水による公共用水域の水質汚濁及び生活環境の悪化を防止するため、既存単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への設置替えをする者に対し補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和４年度　～　令和７年度
(5) 事業対象地域の要件	下水道法第４条第１項に基づき策定される事業計画における予定処理区域以外の区域
(6) 事業計画額	交付対象事業費　　8,056 千円 うち　（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費　0 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費　0 千円

○　事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模
【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 （　６４人分）	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5 人槽	６基（　３０人分）	1,992 千円	1,992 千円	1,992 千円
6～ 7 人槽	２基（　１４人分）	828 千円	828 千円	828 千円
8～10 人槽	２基（　２０人分）	1,096 千円	1,096 千円	1,096 千円
11～20 人槽	基（　　人分）			
21～30 人槽	基（　　人分）			
31～50 人槽	基（　　人分）			
51 人槽以上	基（　　人分）			
宅内配管費	10 基	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
撤去費	10 基	1,140 千円	1,140 千円	1,140 千円
雨水貯留槽等再利用	基			
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合　計	１０基（　６４人分） ※基数の合計には、宅内配管費、撤去費、改築費を除く。	8,056 千円	8,056 千円	8,056 千円

【参考資料様式８】

計 画 支 援 概 要

都道府県名　　神奈川県

(1)　事業主体名	高座清掃施設組合			
(2)　事業目的	マテリアルリサイクル推進施設整備のため			
(3)　事業名称	高座地域マテリアルリサイクル施設（事業番号２）に係る実施設計等委託業務	高座地域マテリアルリサイクル推進施設（事業番号２）に係る旧施設解体実施設計委託業務	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る整備基本計画策定及びPFI等導入可能性調査委託業務	マテリアルリサイクル推進施設（事業番号2）に係る生活環境影響調査委託業務
(4)　事業期間　※1	令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度～令和6年度
(5)　事業概要	実施設計等	汚染物質調査、実施設計等	基本計画の策定及び事業の経済性や継続性等の調査検討	施設整備に係る環境についての調査及び、予測、評価等

(6)　総事業計画額　※1	0円 (30,591千円) うち、交付対象事業費 0円 (22,100千円)	24,184千円 うち、交付対象事業費 21,780千円	16,731千円 うち、交付対象事業費 12,900千円	2,310千円 うち、交付対象事業費 0円

※1　事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の工期、金額を記載し、全体の工期、金額を括弧書きすること。

大和市 防災マップ

このマップは、地震・風水害等が発生した場合の避難等に必要となる情報を示したものです。
広域避難場所や避難生活施設、土砂災害警戒区域、緊急輸送道路などの位置のほか、境川および引地川がはん濫した場合の浸水想定区域と浸水した場合に予想される水深を示したものです。

大雨や台風のときには、増水した川、急傾斜地など、危険な場所には近づかないようにしましょう！

浸水時避難方向

※実際の災害状況に応じて、安全なルートを選んで避難してください

1:12,500

洪水浸水想定区域について

近年、集中豪雨等による水害が頻発していることから、平成27年に水防法が改正され、河川の規模による洪水到達時間を基本とした雨の降り方から算出する「想定し得る最大規模の降雨」に基づいて洪水浸水想定区域を見直すこととなりました。

神奈川県は、これに基づき、いずれも24時間の降雨で、境川を632mm、引地川を412mmとの前提で、洪水浸水想定区域を指定（境川：平成30年1月指定、引地川：平成30年12月指定）しました。また、準用河川部分については、県の想定に基づき市で調査を実施しました。

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫、流木や土石などによる影響を考慮していませんので、浸水深が異なる場合や洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合がありますのでご注意ください。

浸水想定区域の見方

水深凡例

浸水した場合に予想される水深（ランク別）

- 5.0m以上の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

災害時の情報は FMやまと（77.7MHz）で！

AED設置場所

市内に設置されているAED（自動体外式除細動器）について、次の二次元バーコードから調べることができます。

市では、避難所等について、大規模災害から命を守るために、緊急的に避難する指定緊急避難場所のことを広域避難場所、災害後に自宅を失った人が臨時に生活する指定避難所を避難生活施設、避難生活施設での生活が困難な要配慮者が避難生活をする特定指定避難所を「福祉避難所」という名称を使用しています。

一時避難場所とは、被害を避け、近隣の住民が情報を収集するために一時的に避難する場所です。自主防災会により最寄りの公園などが指定されていますので、詳しくは同会にお問合せいただく、市ホームページをご覧ください。

※地震や風水害の災害種別や状況によっては、必ずしも近隣の避難生活施設が避難施設となるとは限りません。

広域避難場所

	住所
① 相模カンツリー倶楽部	中林南四2-1-1
② 大和高校・つきみ野中学校	つきみ野3-5
③ 北大和小・南林間小・南林間中学校	南林間2-3
④ ーノ関・城ケ岡	下鶴間2714
⑤ 藤沢駅	辻堂駅前2
⑥ 大和スポーツセンター	上草柳1-1-1
⑦ 大和南小・大和東小学校	深見7-29-1
⑧ 横浜銀行大和総合グラウンド	草柳1-22
⑨ 引地台小・引地台中学校	柳橋1-3000
⑩ 大和湖畔	上和田557
⑪ 大和ゆとりの森	福田4118
⑫ 藤沢ゴルフクラブ	鵠沼海岸通7-2-1
⑬ いちょう団地	下福田60

避難生活施設

	住所	電話	AED設置
① 市立北大和小学校	下鶴間885	274-1171	○
② 市立林間小学校	中央林間5-3-1	274-4381	○
③ 市立林間小学校	林間1-5-19	274-2618	○
④ 市立鶴間小学校	鶴間3-25-43	274-5429	○
⑤ 市立大和小学校	深見西8-7-1	261-2798	○
⑥ 市立草柳小学校	中央3-6-1	261-1378	○
⑦ 市立深見小学校	深見台1-6-1	261-1376	○
⑧ 市立福田小学校	上福田832	267-2348	○
⑨ 市立渋谷小学校	渋谷7-10	267-3344	○
⑩ 市立上和田小学校	上和田685	267-3352	○
⑪ 市立柳橋小学校	柳橋1-17-7	263-4405	○
⑫ 市立南林間小学校	南林間1-3-2	275-3141	○
⑬ 市立福田小学校	福田5-22-1	267-2851	○
⑭ 市立大野南小学校	上草柳7-4-26	263-2940	○
⑮ 市立下鶴間小学校	鶴間20-7	259-1561	○
⑯ 市立大和東小学校	深見1809	263-2626	○
⑰ 市立文京小学校	桜森3-16-31	263-8266	○
⑱ 市立中央林間小学校	中央林間3-54-1	276-2521	○
⑲ 市立引地台小学校	草柳2-1-2	261-2652	○
⑳ 市立大和中学校	深見西7-5-1	261-2662	○
㉑ 市立光丘中学校	大和南2-11-1	261-1122	○
㉒ 市立渋谷中学校	下草柳49	267-1104	○
㉓ 市立つきみ野中学校	つきみ野3-8-1	274-1726	○
㉔ 市立鶴間中学校	下鶴間3018	274-8803	○
㉕ 市立引地台中学校	柳橋4-5050	267-0535	○
㉖ 市立上和田中学校	上和田314-1	269-1149	○
㉗ 市立南林間中学校	南林間1-3-1	276-2505	○
㉘ 市立林間中学校	林間1508-1	269-2686	○
㉙ 県立大和高校	つきみ野3-4	274-0089	○
㉚ 県立大和南高校	上和田557	269-5350	○
㉛ 県立大和東高校	深見1760	264-1515	○
㉜ 県立大和西高校	柳橋1-1-1	270-1155	○
㉝ 大和学園セリシア	林間2-6-11	274-3234	○

洪水時に開設する臨時避難所

	住所	電話	AED設置
① 南立学園センター	鶴田1-30-1	269-8411	○
② 武蔵学園センター	渋谷5-29	267-2527	○
③ 大和ゆとりの森体育センター	福田4118	267-4800	○

福祉避難所

	住所	電話	AED設置
① 保健福祉センター	鶴田1-31-7	269-8685	○
② 勤労福祉会館	鶴田1-30-12	269-5770	○
③ 高齢福祉センター北風園	西鶴間2-24-11	274-2426	○
④ コミュニティセンター中央林間会館	中央林間5-26-7	276-8121	○
⑤ コミュニティセンター鶴間会館	中央林間4-27-3	276-1816	○
⑥ コミュニティセンター北大和小	下鶴間104-1	273-9481	○
⑦ コミュニティセンター南林間会館	南林間7-14-24	270-2643	○
⑧ コミュニティセンター林間会館	林間2-15-6-2	270-3407	○
⑨ コミュニティセンター西鶴間会館	西鶴間2-4-20	276-3447	○
⑩ コミュニティセンター柳橋会館	柳橋2-10-35	276-3736	○
⑪ コミュニティセンター深見北会館	深見4805-6	262-8030	○
⑫ コミュニティセンター上草柳会館	上草柳5-3-11	264-0012	○
⑬ コミュニティセンター南深見会館	桜森3-6-21	264-7829	○
⑭ コミュニティセンター草柳会館	下草柳852-1	264-1355	○
⑮ コミュニティセンター深見中会館	深見台4-10-28	264-7611	○
⑯ コミュニティセンター下草柳会館	中央5-5-19	264-5110	○
⑰ コミュニティセンター深見東会館	深見台1-9-18	262-2671	○
⑱ コミュニティセンター柳橋会館	柳橋2-12-2	269-8605	○
⑲ コミュニティセンター桜丘会館	上和田880-1	269-8047	○
⑳ コミュニティセンター福田会館	代官1-28-3	269-9380	○
㉑ コミュニティセンター上和田会館	上和田2700-18	269-8917	○
㉒ コミュニティセンター下福田会館	福田511-1	269-1577	○
㉓ コミュニティセンター下福田会館	下福田791-2	267-8500	○

福祉施設等一時滞在施設

	住所	電話	AED設置
① 大和市西文化福祉プラス	中央林間3-3-1	274-4261	○
② 三陽クリノセンター	中央林間7-10-1		○
③ 特別養護老人ホーム大和園	大和南1-1-8-1	259-7551	○
④ 市立福祉センター	中央3-6-1	261-1378	○

この他、保健福祉センターが指定されています。

市の主な機関

	住所	電話	AED設置
① 市役所庁舎	下鶴間1-1-1	263-1111	○
② 大和市役所 中央林間分室	中央林間4-12-1	275-1180	
③ 市教育委員会・市立図書館	渋谷5-22	267-2500	○
④ 保健福祉センター	鶴間2-12-1	263-1511	○
⑤ 総合公園レクリエーション	草柳3-12-1	269-1500	○
⑥ 引地台温水プール	柳橋4-5000	262-5757	○
⑦ 市民体育館・武道館	深見西1-8-8	261-1119	○
⑧ 北大和公園	深見西4-4-8	261-1119	○
⑨ 大和市消防署本庁舎	中央林間7-2-1	275-0119	○
⑩ 大和市消防署西分遣所	上草柳1842-2	260-0118	○
⑪ 大和市消防署南林分遣所	林間1-20-13	200-0119	○
⑫ 大和市消防署南分署	上和田977-12	268-0119	○
⑬ 大和市消防署	深見西7-3-8	260-0111	○
⑭ ホーミーズ地域福祉センター	柳橋2-11	267-5002	○
⑮ 大和市地域高齢者センター	柳橋1-26-5	263-6600	○
⑯ 聖隷浜松工業センター	柳橋1-19-3	263-5199	○
⑰ 市立福祉会館	中央林間1-20-12	274-4709	○
⑱ 市立図書保育園	鶴間1-25-3	261-2603	○
⑲ 市立南林間保育園	中央1-8-27	258-7019	○
⑳ 市立福田保育園	福田8-22-5	267-0665	○
㉑ 大和文化センター	鶴間1-1	263-3000	○
㉒ つきみ野学習センター	つきみ野5-3-5	276-0088	○
㉓ 長谷学習センター	柳橋1-30-1	263-0411	○
㉔ 渋谷学習センター	渋谷5-22	267-2527	○
㉕ 上草柳センター	深見西1-26-12	262-5266	
㉖ 大和スポーツセンター	上草柳1-1-1	261-6200	○
㉗ 大和ゆとりの森野鳥センター	福田4118	267-6800	○
㉘ 市立北部学校給食共同調理場	深見西7-5-2	261-3778	
㉙ 市立中部学校給食共同調理場	中央7-10-8	266-2021	
㉚ 市立南部学校給食共同調理場	南林7-30-6	268-1412	
㉛ 大和市立文化財ふれあいハウス	中央林間1-3-1	274-4261	
㉜ 大和市民総合福祉センターパトレハウス	深見西1-2-17	260-5204	
㉝ 大和市文化財保存センター	大和南1-3-1	262-0014	○

県の機関

	住所	電話	AED設置
① 神奈川県 立高校入学願書配布場所	鶴間1-20-1-18	261-1205	○
② 神奈川県 学校給食共同センター	中林1-5-26	261-2048	○
③ 神奈川県 大和警察署	中林5-15-4	267-0110	○
④ 大和警察署 中央林間交番	中央林間5-1		
⑤ 大和警察署 つきみ野駅前交番	つきみ野4-32-1		
⑥ 大和警察署 林間交番	林間2-11-1		
⑦ 大和警察署 鶴間交番	鶴間2-1-21		
⑧ 大和警察署 大和駅交番	中央2-1-24		
⑨ 大和警察署 南林間駅交番	林間2-1-1		
⑩ 大和警察署 桜ヶ丘交番	上和田947-1		
⑪ 大和警察署 福田交番	福田2-26-4		
⑫ 大和警察署 下鶴間駅前	下鶴間2358		

凡例

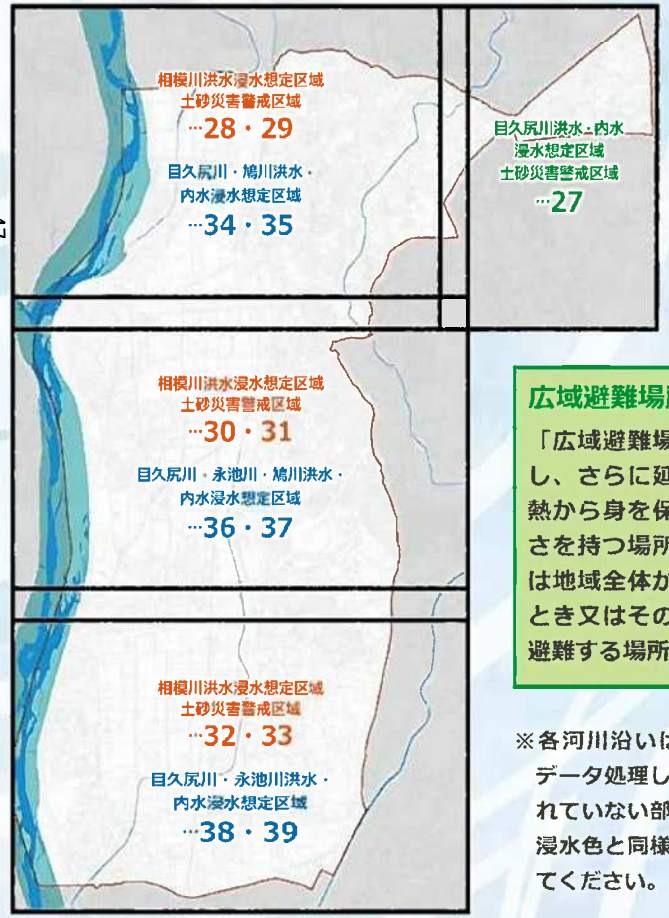
- 駅
- 市役所
- 支 支所
- 私鉄線
- 警 警察署
- 私 私立学校
- 引込線
- 交 交番
- 病 病院
- 消 消防署
- 市 市役所
- 市民センター
- 竹 竹林
- 駐車場・駐輪場
- 消 消防施設
- 主要道路
- 神 神奈川県
- 市道
- 国 国道
- 鉄道
- 高 高速道路
- 自動車専用道路
- 市役所
- 支 支所
- 警 警察署
- 私 私立学校
- 交 交番
- 病 病院
- 消 消防署
- 市 市役所
- 竹 竹林
- 消 消防施設
- 神 神奈川県
- 国 国道
- 市 市道
- 高 高速道路
- 自 自動車専用道路
- 市役所庁舎
- 支 支所
- 警 警察署
- 私 私立学校
- 交 交番
- 病 病院
- 消 消防署

ハザードマップ目次

この地図は、神奈川県が作成した相模川、目久尻川、鳩川、永池川が洪水を起こした場合の目安と相模川の家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域を示したものです。なお、内水については、市で作成したものです。

想定降雨

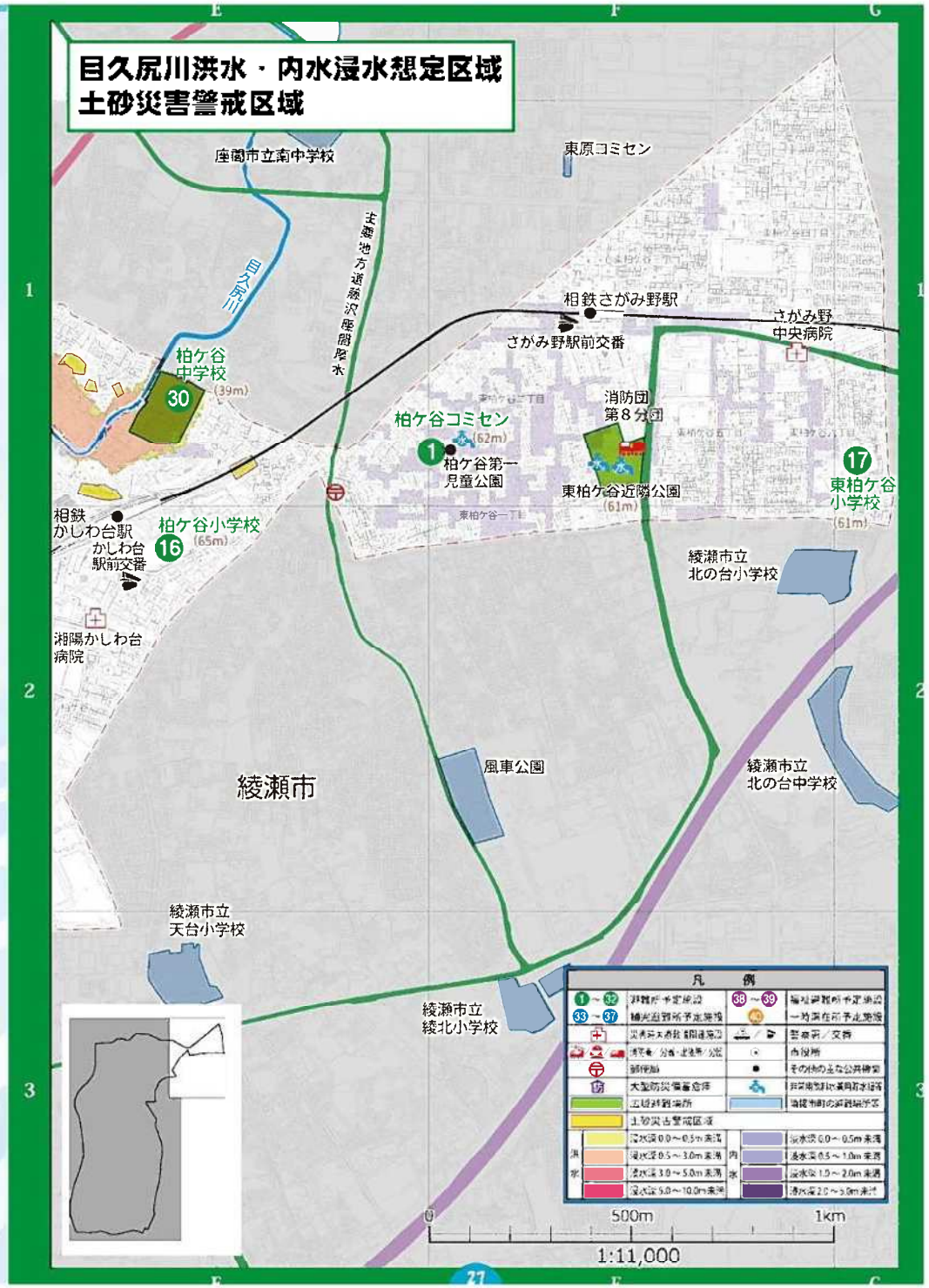
- 相模川……おおむね1000年に1回程度起こる大雨で、48時間で567mmの降雨
  浸水解析　想定降雨により、破堤地点219ケースと破堤なしの越水による1ケースの計220ケースにより浸水を解析したものです。
  ※破堤する箇所により、浸水する範囲や開設できる避難所などは異なります。
- 目久尻川……24時間で398mmの降雨
- 鳩川……24時間で326mmの降雨
- 永池川……24時間で304mmの降雨
- 内水……1時間で102mmの降雨



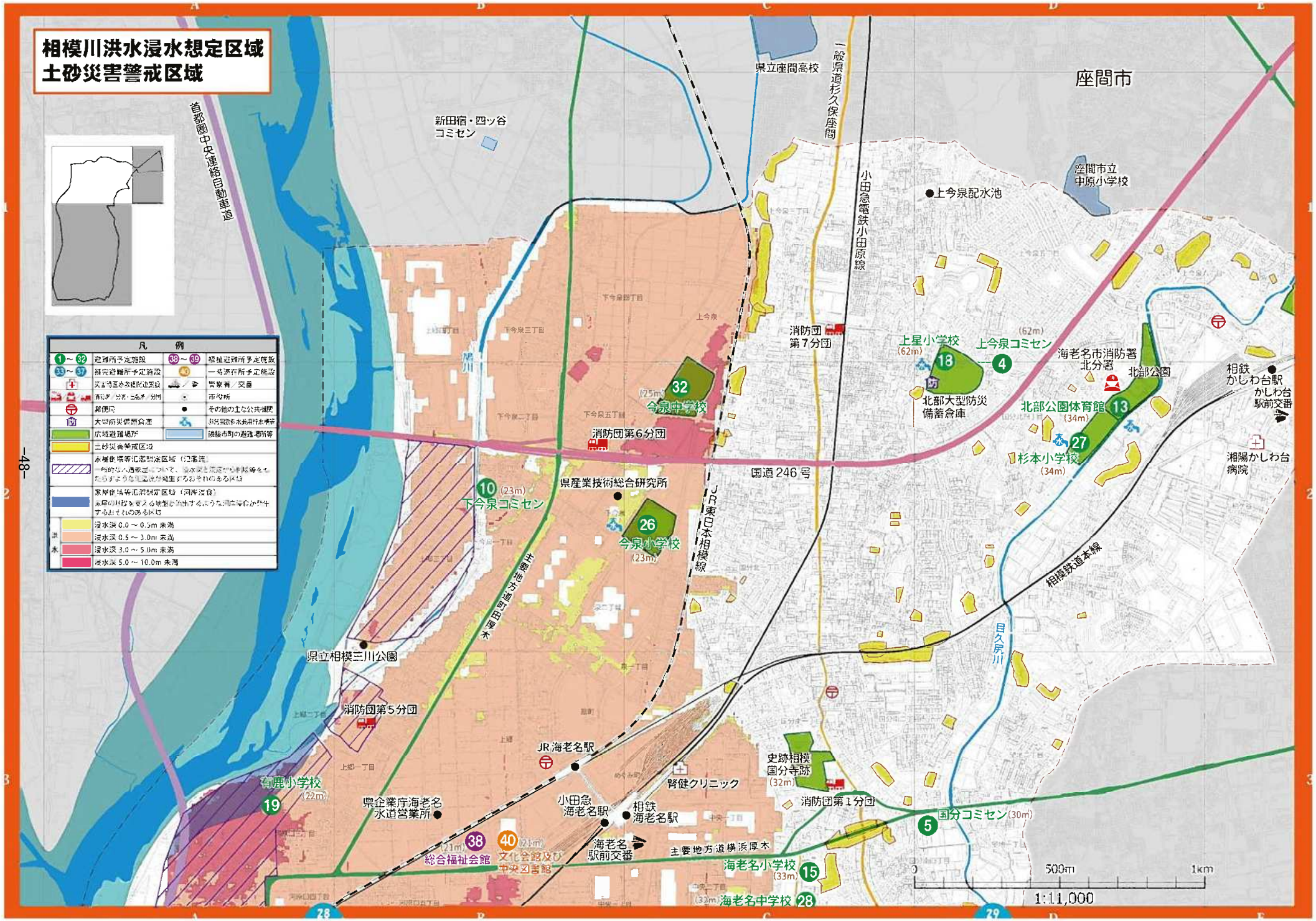
広域避難場所

「広域避難場所」は、火災が発生し、さらに延焼拡大し、その輻射熱から身を保護するのに十分な広さを持つ場所で、身の周辺若しくは地域全体が危険な状態になったとき又はそのおそれがあるときに避難する場所です。

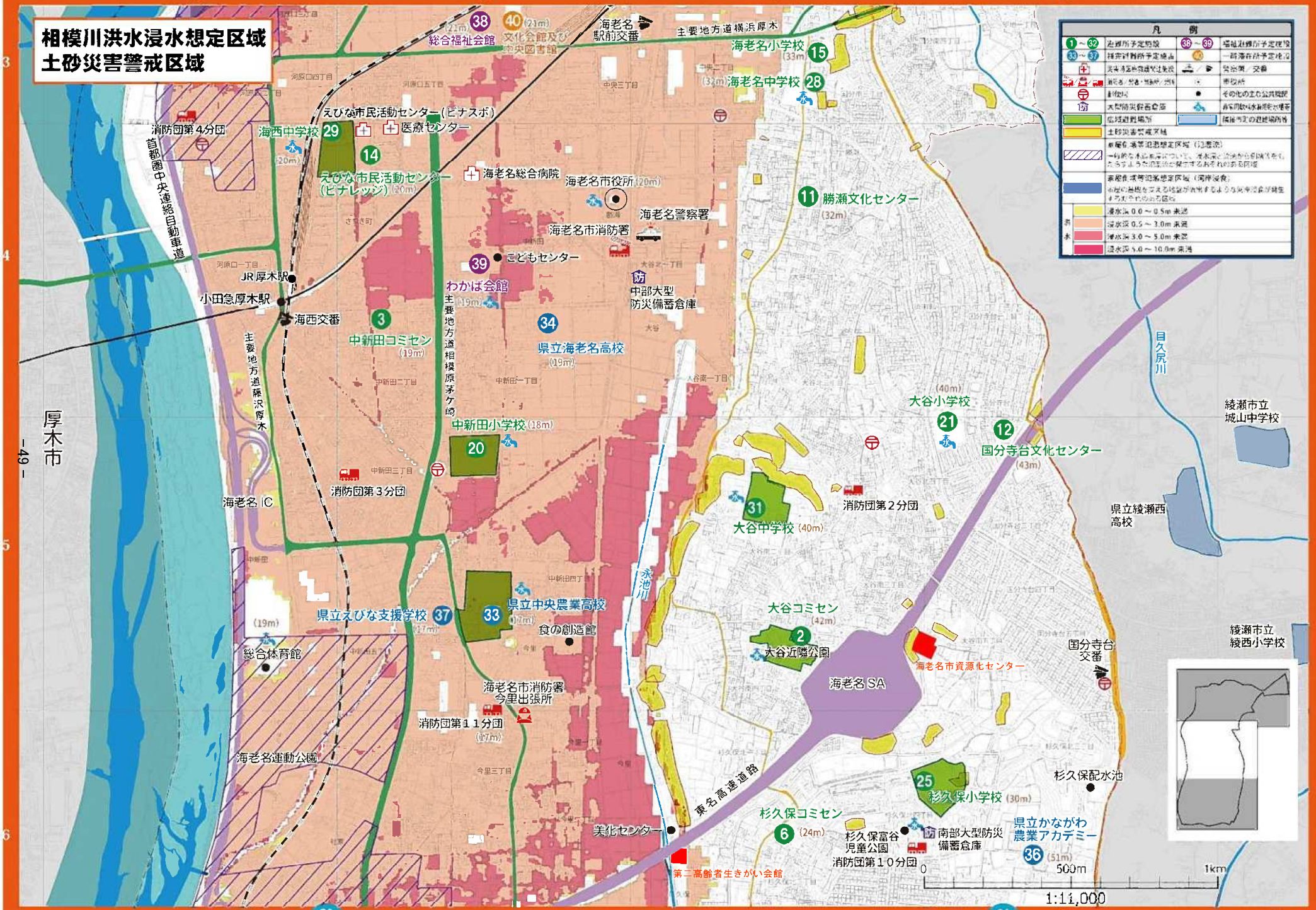
※各河川沿いは周辺一帯を河川としてデータ処理しているため、色が表示されていない部分がありますが、周辺の浸水色と同様になりますので、注意してください。



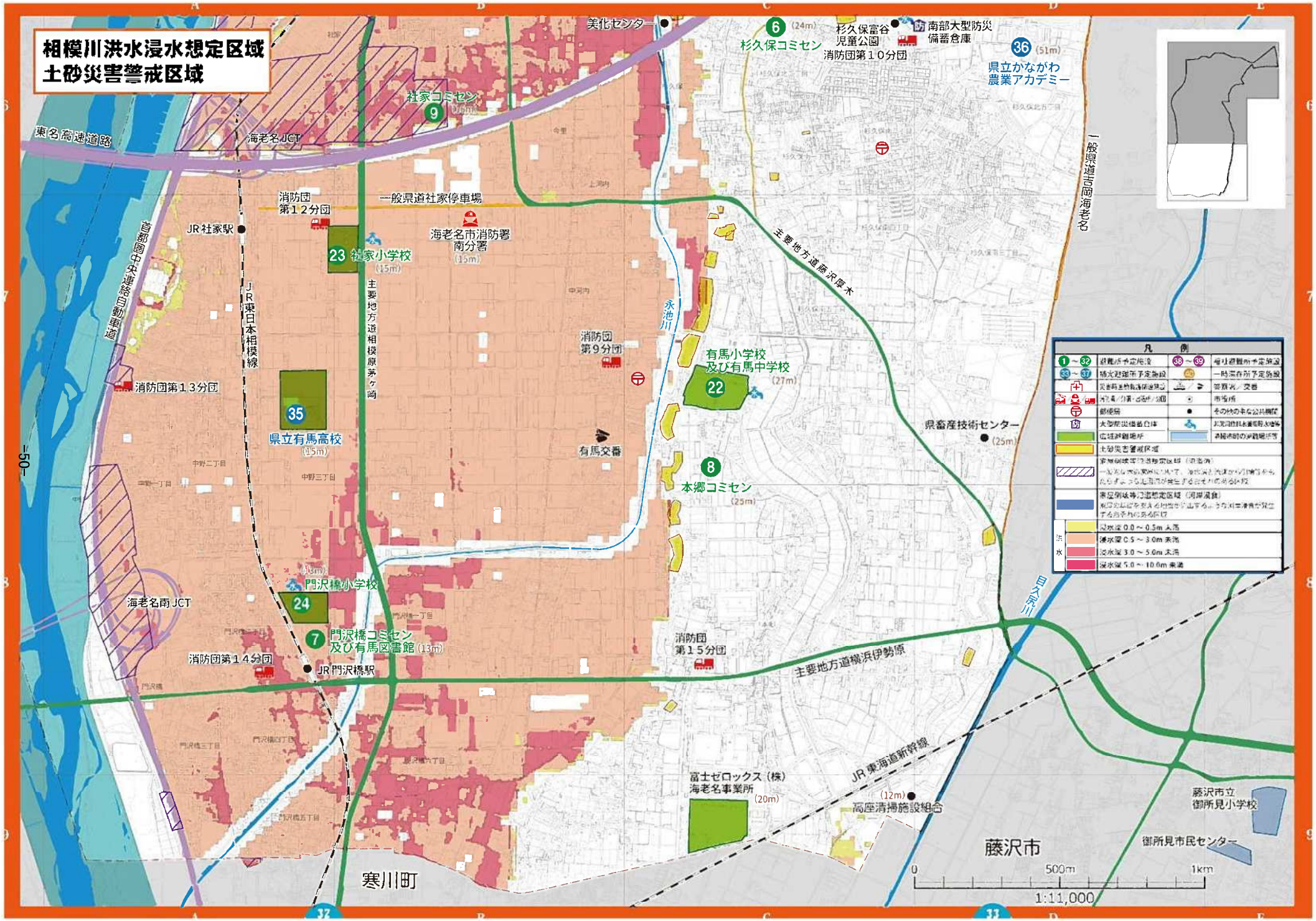
相模川洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域



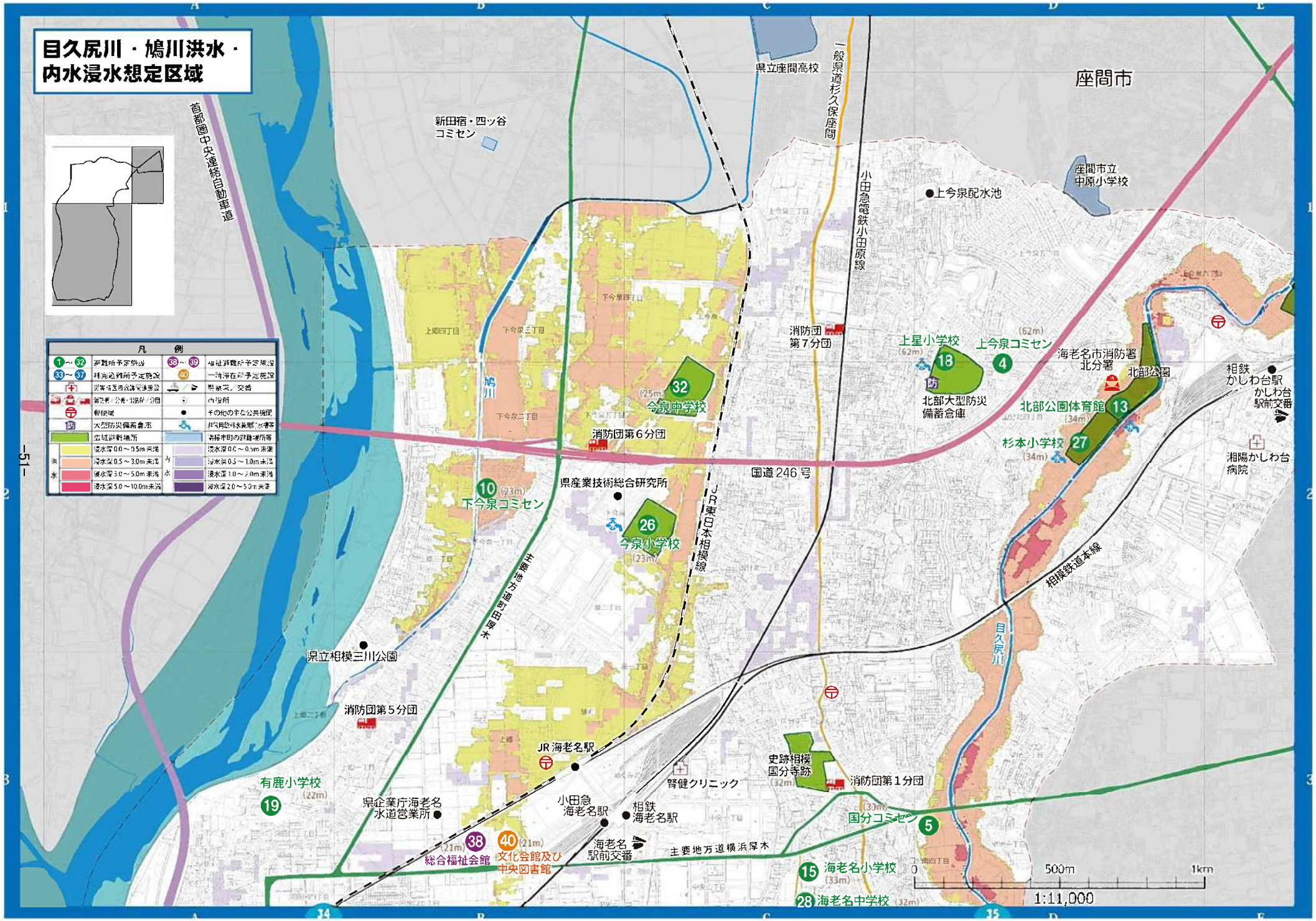
相模川洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域



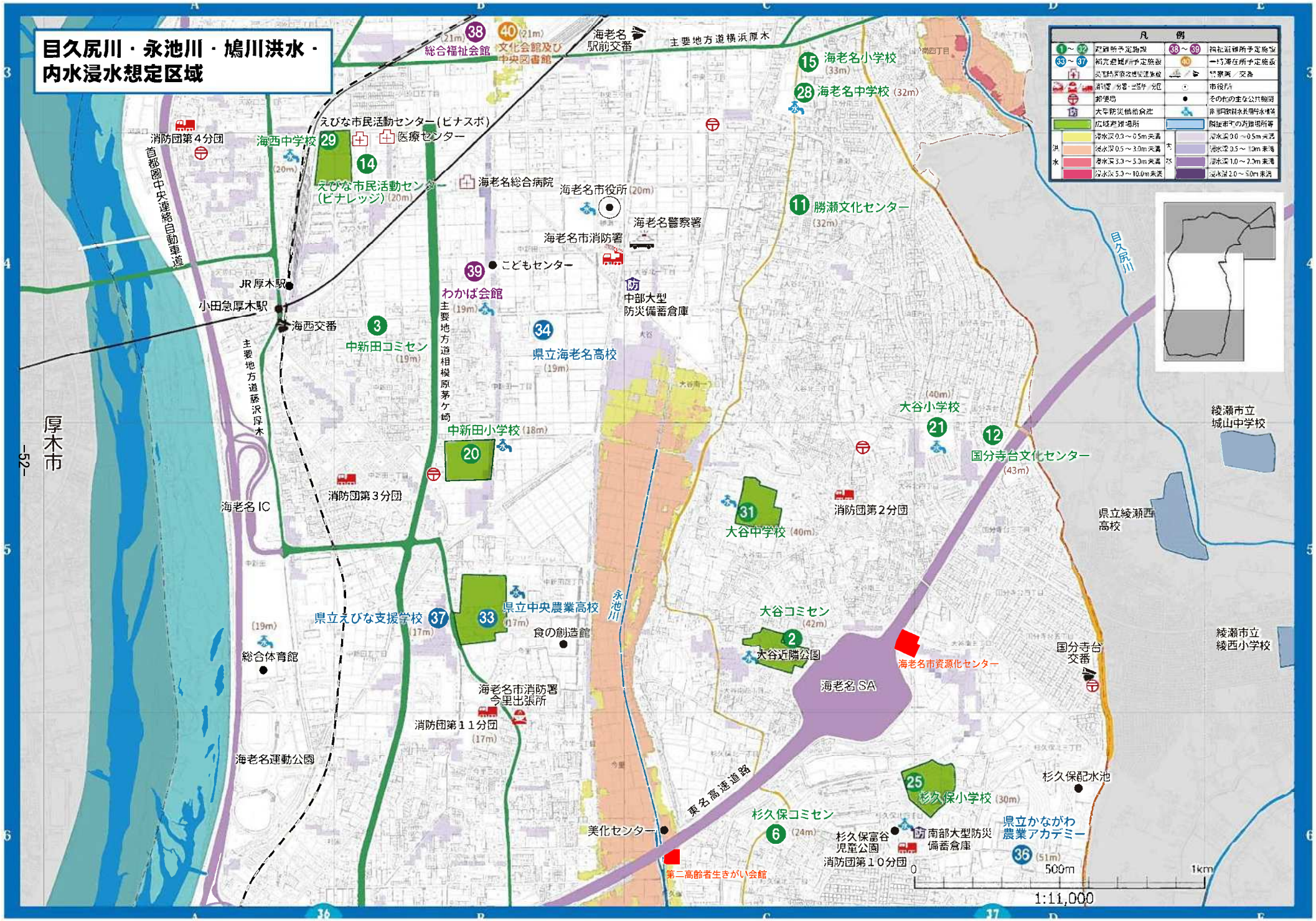
相模川洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域



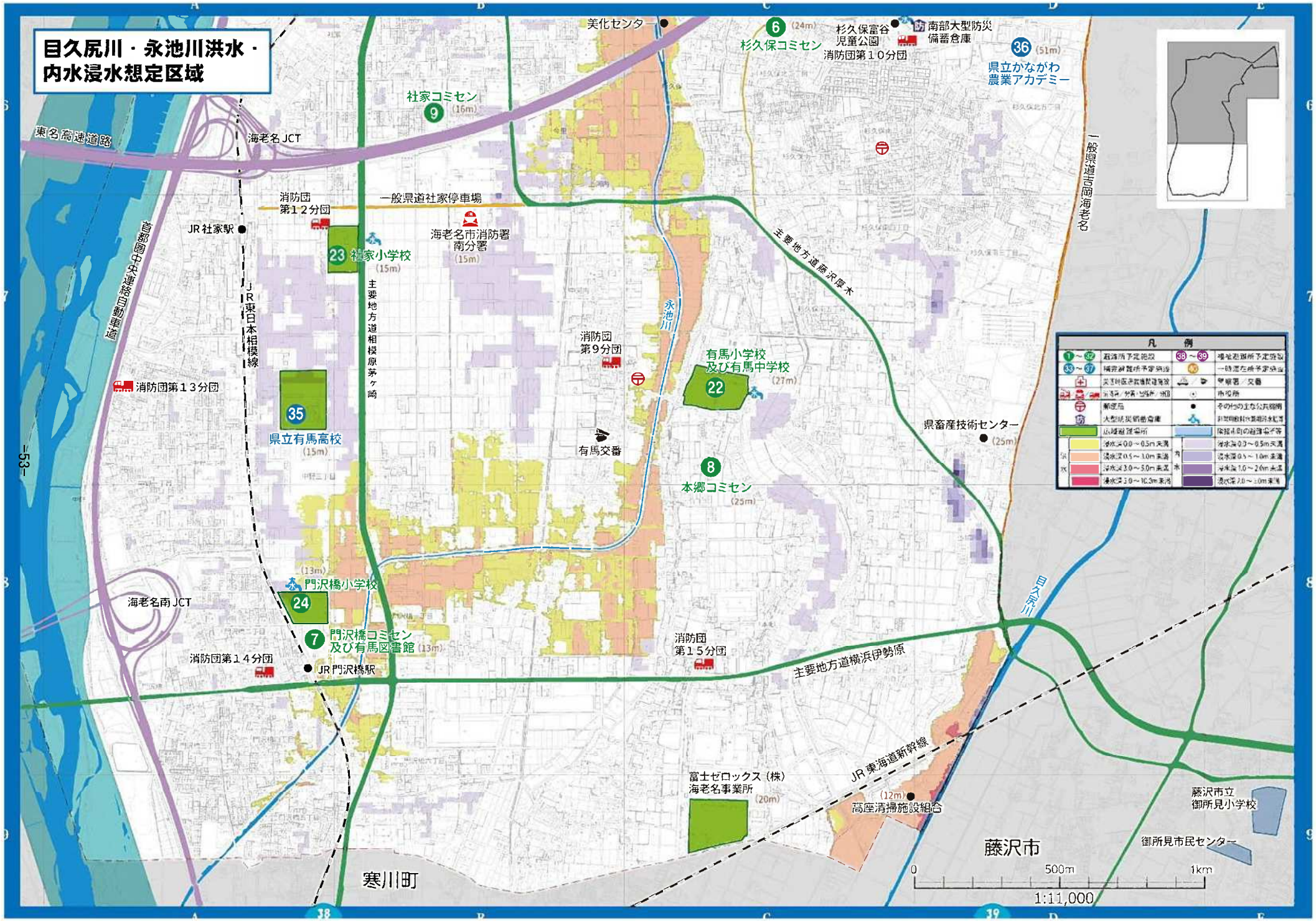
目久尻川・鳩川洪水・内水浸水想定区域



目久尻川・永池川・鳩川洪水・内水浸水想定区域



目久尻川・永池川洪水・内水浸水想定区域



座間市 内水ハザードマップ

Zama City Landside Water Hazard Map

座間市マスコットキャラクター「ざまりん」

1時間降雨量 100mmでの内水浸水想定区域

1時間降雨量 50mmでの内水浸水想定区域

シミュレーション条件

※内水シミュレーションは、雨水排水を河川へ排水できないことが前提となります。

・1時間降雨量 50mmは 、「相模川流域関連座間公共下水道事業計画（平成23年度）」による設定。

・1時間降雨量 100mmは 、座間市で想定しうる最大の降雨量として設定。

・平成27年3月時点の下水道管、水路、調整池等を施設条件として設定。

・マンホールポンプは、正常に稼働している設定。

・地盤高の条件は、国土地理院より公表されている5mメッシュの平均地盤高を設定。

※降雨状況により、浸水範囲や水深がさらに大きくなる可能性があります。

凡例

- 防災拠点施設 Disaster Management Base Facility
- 避難所 Evacuation Center
- 総合病院 General Hospital
- 応急救護所 First Aid Station
- 飲料水形水槽 Water Tank for Drinking Water
- 備蓄倉庫 Warehouse for Supplies
- 警察署・交番 Police Station/Police Box (KOBAN)
- 消防署 Fire Station
- 調整池 Retention Basin
- マンホールポンプ Manhole Pump
- 災害情報相談窓口 Welfare Facility
- 災害ボランティアセンター Disaster Volunteer Center
- 防災無線 Disaster Prevention Radio Communications
- ヘリコプター臨時離着陸場 Heliport for use of emergency
- 河川 River
- 私鉄 Private Railroad
- 市界 City Boundary
- 大字界 Boundary for large village section
- 主要道路 Main Road

浸水想定区域の見方

水深凡例

浸水した場合に予想される水深
Predicted Depth of Water When It Floods

- 1.0m～の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.2～0.5m未満の区域
- 0.2m未満の区域

市内を流れている下水道や水路が大雨によって溢れたと仮定した場合に、予想される「浸水区域」や「浸水の深さ」を示したものです。なお、雨の降り方などにより、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

避難所一覧表

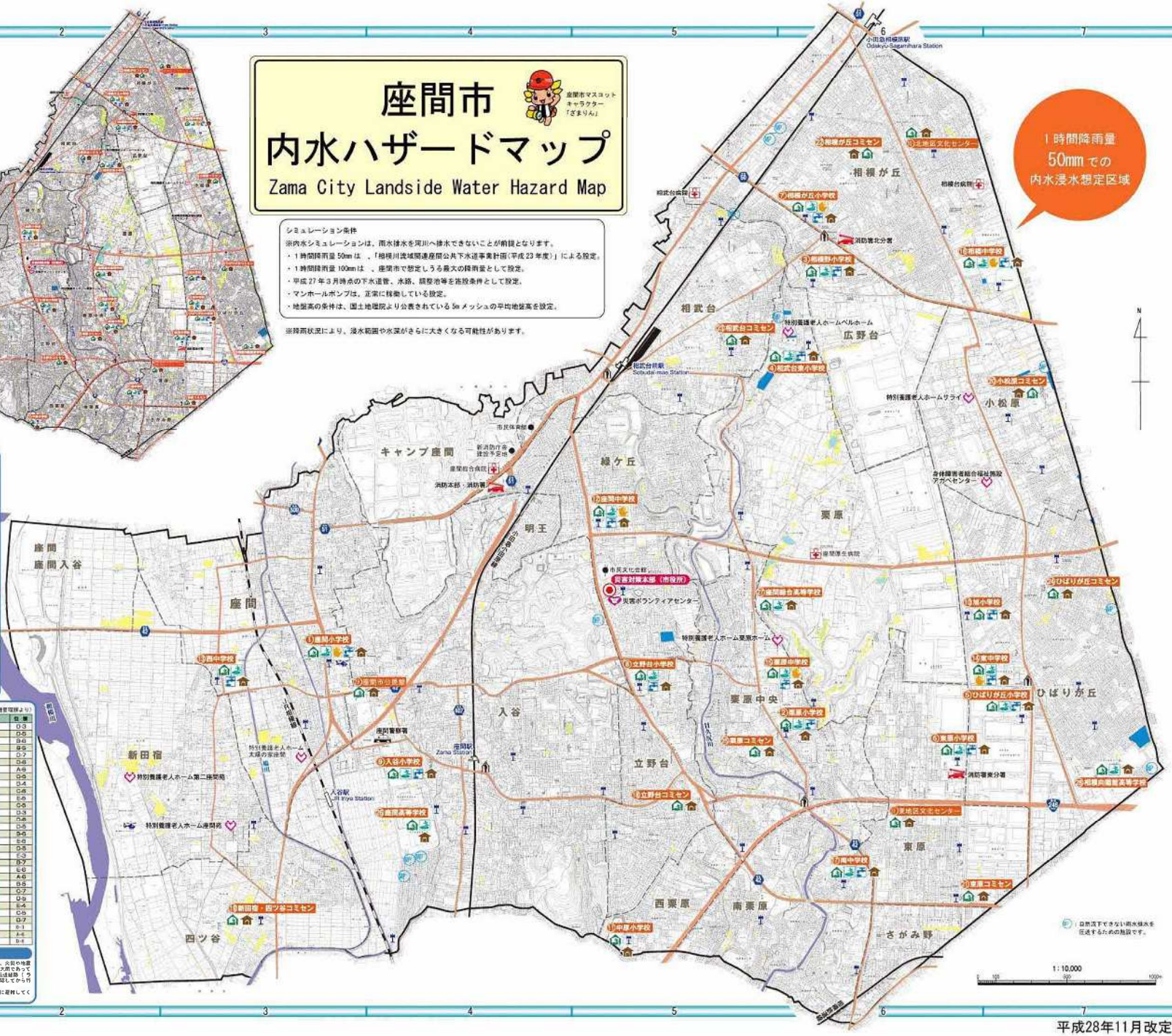
（危機管理課より）

	名称	住所	電話番号	地図	位置
1	座間小学校	座間 2-3133	☎251-0006		D-3
2	東原小学校	東原中央 6-9-1	☎251-0274		D-5
3	相模野小学校	広野台 1-41-1	☎251-0825		B-6
4	相武台東小学校	東原 1-3-22	☎251-0448		B-5
5	ひばりが丘小学校	ひばりが丘 4-4-1	☎252-1124		D-7
6	東原小学校	東原 2-6-1	☎253-3145		D-6
7	相模が丘小学校	相模が丘 3-1-1	☎254-8202		A-6
8	立野台小学校	立野台 1-1-3	☎254-8130		D-5
9	入谷小学校	入谷 2-345	☎253-7211		D-4
10	西小学校	ひばりが丘 5-43-1	☎253-9255		C-6
11	中央小学校	栗原新 2-16-1	☎251-3992		E-5
12	座間中学校	緑ケ丘 4-6-10	☎251-0136		C-5
13	西中学校	座間 2-1230	☎251-2277		D-3
14	東中学校	ひばりが丘 5-57-1	☎253-3357		D-6
15	栗原中学校	栗原中央 6-4-1	☎254-8977		D-5
16	相模中学校	相模が丘 6-35-1	☎253-2180		B-6
17	南中学校	栗原新 3-8-1	☎256-0730		E-6
18	立野台コミセン	立野台 3-14-12	☎255-0818		D-5
19	新田宿・四ツ谷コミセン	四ツ谷 1026	☎257-4871		E-3
20	小松原コミセン	小松原 1-45-14	☎267-6640		B-7
21	栗原コミセン	栗原 4-13-13	☎259-9770		E-6
22	相模が丘3コミセン	相模が丘 3-38-1	☎253-3000		A-6
23	相武台コミセン	相武台 3-20-18	☎253-3001		B-5
24	ひばりが丘コミセン	ひばりが丘 1-49-1	☎257-7699		D-7
25	東原コミセン	東原中央 3-29-17	☎257-7210		D-5
26	座間南等学校	入谷 2-262	☎253-2011		E-4
27	座間総合高等学校	栗原 2-457	☎253-2020		C-5
28	相模原総合高等学校	ひばりが丘 3-58-1	☎253-3455		D-7
29	座間市公民館	入谷 1-3097	☎255-2121		D-3
30	北地区文化センター	相武台 1-30-4	☎247-10-1181		A-6
31	東地区文化センター	栗原 2-1-1	☎253-4711		D-6

避難所について

上記避難場所については、内水浸水による被害を想定した避難所を明記しています。ぜって、公民館地図を設定した最寄りの近隣避難場所や、公民館所の一部については明記していません。また、大雨であってもすぐに避難所を開放するという訳ではありません。避難所へ避難する場合は、最寄所の情報伝達経路（ラジオ、テレビ、いつきメール、防災行政無線、音声自動応答サービス☎020-612-6011）にて確認してから行動を取るようにしましょう。

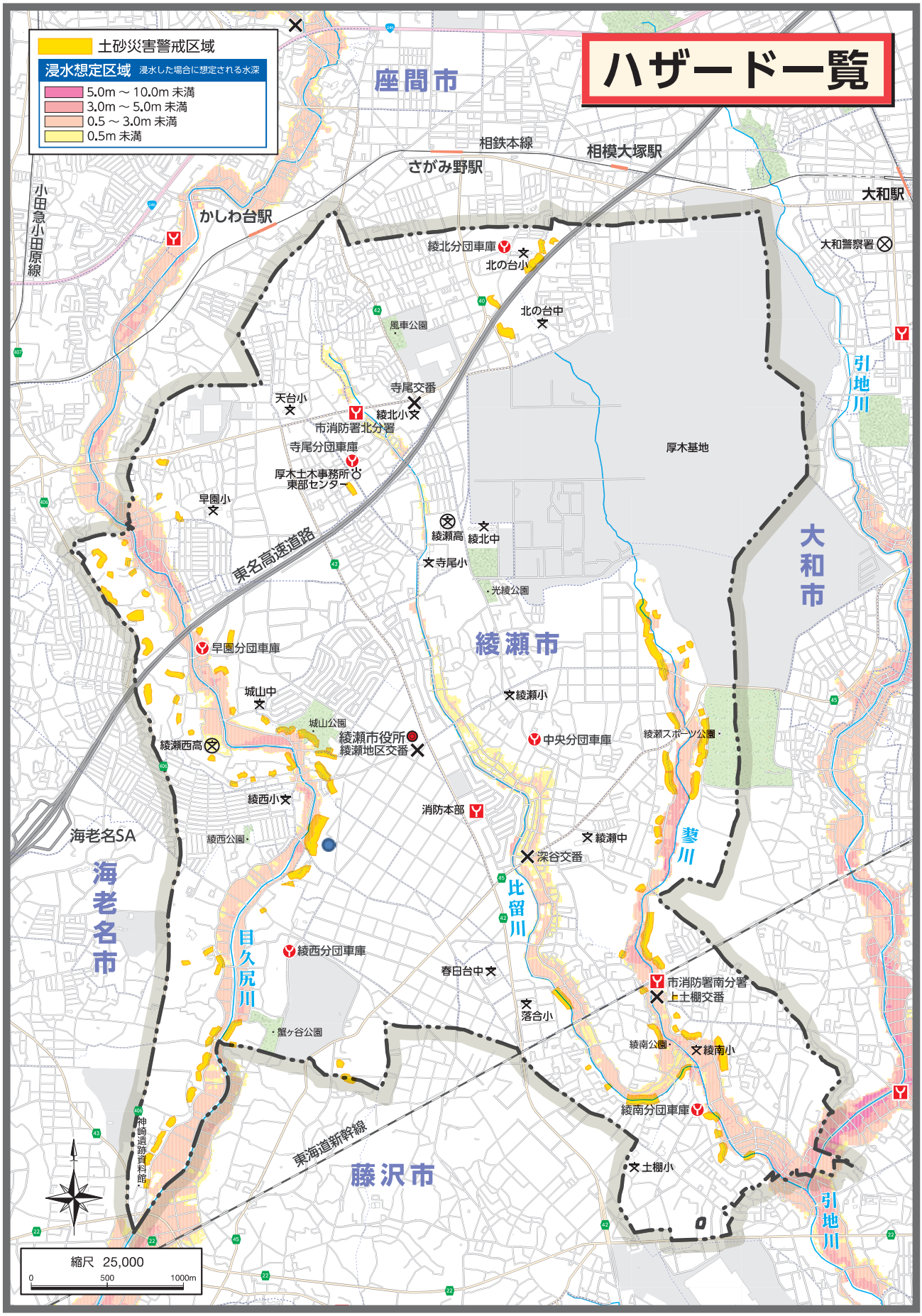
なお、避難所の地域性型としているものので、安全な経路をご確認のうえ、おさくの避難所に避難してください。



平成28年11月改定

座間市 上下水道局 下水道施設課

ハザード一覧


土砂災害警戒区域
浸水想定区域 浸水した場合に想定される水深
5.0m ～ 10.0m 未満
3.0m ～ 5.0m 未満
0.5 ～ 3.0m 未満
0.5m 未満
座間市
相鉄本線
相模大塚駅
さがみ野駅
大和駅
小田急小田原線
かしわ台駅
大和警察署
綾北分団車庫
北の台小
北の台中
風車公園
寺尾交番
天台小
綾北小
市消防署北分署
寺尾分団車庫
厚木土木事務所東部センター
厚木基地
早園小
綾瀬高
綾北中
寺尾小
東名高速道路
光綾公園
大和市
引地川
綾瀬市
早園分団車庫
城山中
綾瀬小
城山公園
綾瀬市役所
綾瀬地区交番
綾瀬西高
中央分団車庫
綾瀬スポーツ公園
綾西小
消防本部
綾瀬中
海老名SA
綾西公園
深谷交番
海老名市
比留川
目久尻川
綾西分団車庫
春日台中
市消防署南分署
上土棚交番
落合小
蟹ヶ谷公園
綾南公園
綾南小
綾南分団車庫
神崎遺跡資料館
東海道新幹線
藤沢市
土棚小
縮尺 25,000
0
500
1000m